

聖徒の道 9





心の糧

十二使徒評議員

リグランド・リチャーズ

聖典の価値について二、三申しあげたい。皆さんがこれまでに聖典をお読みになったことがあるのか、それとも、ただ本棚に置いておられたのか、私にはわからないが、聖典はどんな意味を持っているのであろうか。

もし聖典がなかったら、天父の愛や、神と人との関係、そして私たちのために独り子を与えてくださった神の愛について、私たちは何を知ることができるであろうか。神の独り子が私たちに与えられたのは、御子に従うことによって、神の御前に戻り、主が私たちに備えてくださったものについて何かを知ることができるためである。聖典がなければ世の救い主の大いなる贖いの犠牲について、何を知ることができるであろうか。救い主が私たちの罪のために十字架にかかれることを知っていて、その犠牲が御子にとってどんな意味を持っていたかを把握し、救い主が私たちのために実際になされたことを理解する能力を持ちあわせていない。なぜ神はこの地球を創造し、私たちはなぜここにおり、そして神は私たちのために何を計画されたかについて、何を知ることができるであろうか。

私たちはどこから来たのか、なぜここにいるのか、どこへ行こうとしているのかどのようにしてそこへ行くのかを知らなければ、私たちは舵も帆も、あるいは私たちを導くものが何もない洋上の船のようなものである。私たちは続けて浮んでいるであろうが決して港に入ることはないのである。そういうわけで聖典が必要なのである。

も く じ

予言者のことば

- 「教会の青年の責任と使命」……………大管長 デビド O. マッケイ…… 1
- 「予言者の声」……………R. ドン オスカーソン…… 3
- 「その本を焼きなさい」……………ドン・ビンセント・ディ・フランセスカ…… 6
- 「サイラス・ダーリンと天使モロナイの像」……………アルバート・L・ゾベル, Jr…… 9
- 「最もよく守られている世界の秘密」……………12
- 管理監督会のページ
- 「祈りについて」……………ジョン H. バンデンバーグ……13
- 扶助協会
- 「マッケイ大管長の誕生日を祝して」……………15
- MIA
- 「MIAとガールズ・プログラム」……………16
- 日曜学校
- 「決心と実際の間にある淵」……………リランド H. モンソン……17
- 若人のページ
- 「女性への率直な意見」……………20
- 「義務と責任」……………リンゼイ R. カーティス……22
- 系 図
- 「世界系図セミナー」……………23
- 「わいせつな出版物の害悪」……………J. エドガー・フーバー……24
- 伝道部長メッセージ……………25
- ローカルニュース……………26
- 「いつ、何を許すべきか」……………リチャード L. エバンズ……裏表紙

子 供 の ペ ー ジ

- 「ティミーへの贈物」……………フランセス・カルフィ・マトランガ…… 1
- 「おかしであそびましょう」……………ペギー・ゲイスゼル…… 3
- 「ちょうちょについて」……………3
- 「ポーアのレンガ」……………4
- 「ライオンとねずみ」……………8

教 会 歴 史

9月7日

1958年ロンドン神殿献堂さる

9月11日

1955年スイス神殿献堂さる

9月17日

1884年ローガン神殿献堂さる

9月21日

1823年天使モロナイが

ジョセフ・スミスを訪れる

9月23日

1945年アイダホ神殿献堂さる

今 月 の 表 紙

デビドO・マッケイ大管長(1873年9月8日生まれ)とエマ・レイ・リッグズ・マッケイ姉妹(1877年6月23日生まれ)は1901年1月2日に結婚され、67年以上にわたり円満に互いの幸せを気づかっておられます。この美しい写真は今春3月、ソルトレークにてマリット・スミス氏により撮影されたものです。本誌はマッケイ大管長の誕生日を心からお祝い申し上げます。



教会の青年の責任と使命

大 管 長 デ ビ ド O. マ ッ ケ イ

「汝らの束縛を解きたる自由を守りなさい……」（教義と聖約88：86）

「そして真理は、あなたがたに自由を得させるであろう」（ヨハネ8：32）

この「真理」の根本的なものは、私たちに与えられた自由意志——望むように考え、行う権利——である。自由意志は、神が与えたもう祝福であって、生命と同じくらい貴重なものである。自由意志なくしては、進歩することも幸福になることもできない。

力強い巨人である人間

人が世界の最高峰であるエベレスト山を征服したと発表された時、世界中の人々は非常に驚いた。人はまた勇気と忍耐の一時期を画して、自然を克服した実績をふやしたのであった。ほとんど半世紀にわたって、人はこの不可能と思える偉業を達成しようとしてきた。ついに力強い巨人のように、人はこれまで征服されたことのないエベレスト山上に立ったのである。

エベレスト山の頂上に立つことは、偉大な業績である。英国の女王は、これを達成した人にナイト

覚であり、無限なるものとの交わりの自覚である。霊性は人に困難を克服させ、もっともっと力を得させてくれる。人の能力が啓発され、真理が霊の中にひろがっているのを感じるのは最も崇高な経験である。」(1958年4月4日一般大会説教の抜粋)

* * *

霊性。自分より高い何か。——人の尊厳のため努力すること——がマッケイ大管長の私たちの世代に対する最も大きなそして最もよく繰り返されたメッセージであります。

もう一つは家庭の神聖さについてであります。1955年10月11日マッケイ大管長はブリガム・ヤング大学で、結婚の成功

「この原則は、結婚関係における幸福の基礎——末日聖徒の間で教えられ、実行されている標準——を示しているように、私には思える。」

* * *

同じ説教の中で大管長は克己の必要を、ユーモアを混じえて強調されました。彼は、料理のことで新しい妻に不平をこぼしている若い夫の話をされました。彼女はがまんして聞いていた後、夫に言いました。

『私は自分が料理の下手なのを知っています。あなたが嫌がっている以上に私も嫌なのです。しかし、あなたは私がそのことでただすわって不平を言っているのを見たことがあ



と家庭における幸福に資する具体的な要素について、彼の青年時代の出来事を用いて次のように話されました。

「私は10代の頃、仲の良い友達と夏の午後散歩したことを覚えている。私たちは南フォークキャニオンに通じる細道を歩いて昇った。道の両側には野性のバラが咲いていた通行人のため塵をかぶっていたので、私たちはバラをつまなかった。私たちは直ぐ丘に着いた。そこにもバラがあったが、これらのバラは通行人のために塵をかぶることなく、ただ日光と朝露に触れるだけであった。私たちは汚れていないバラをつみ、バラをあげるのにとってもふさわしいと思える女の友達にあげたのであった。」

りますか。』結婚してからのこの『不平』は家庭を不愉快にする。克己が舌を制することを学んでもらいたい。」

* * *

それからマッケイ大管長は、彼の特性を示すように、結婚の中に発達させるべきもう一つの簡単な特性——実行するのに簡単であるが、神聖な特質である——の重要性を強調されました。

「私があげるもう一つの……幸福な結婚の一助となる要素は思いやりである。求愛期間中は両方共相手の希望を喜んで予期し、作法にかなった範囲内でその希望に喜んで応えている。あまりにも多くの夫婦が、結婚の祭壇を求愛期間の終り

であると思っている。しかし、むしろそれは永遠の求愛期間の始まりでなければならないのである。これは家庭におけるおもいやりを意味している。婚姻期間に愛する人に払ったと同じ配慮を妻に対して払い、新聞を開いて一言も話さなくても同じ配慮を夫に払うのである。人生は退屈なものになるがしかしこの退屈は、『もしよかったら』とか『ありがとう』とか『ごめんなさい』という言葉が愛する人に喜ばれたと同じように、妻に対して適切な言葉であり感謝されるということ覚えさえすれば、打開されるのである。」

* * *

もう一つの彼の大きな主題は、ソルトレークで行なわれた復活祭のプログラムで話されたものです。音楽の間に、マッケイ大管長は救い主の使命について、短い復活祭の話をされました。話の終り近くきて大管長はこのような言われました。「私たちはイエスがキリストであり、世の救い主であると信じて〔彼は一時話をとめ、原稿から目を上げ大勢の聴衆の目を見ました〕、いや知っている。」

* * *

1959年10月の一般大会の公式の席で、彼はこのことを別の言葉で言われました。

パウロはテモテにこう書いている。「神のみまえと、生きている者と死んだ者とをさばくべきキリスト・イエスのみまえて……おごそかに命じる。御言葉を宣べ伝えなさい。」

(テモテ後4:1-2)

* * *

どのような「御言葉」であるか。それは「イエス・キリストは死を滅ぼし、福音によっていのちと不死とを明らかに示されたのである。」(テモテ後1:10)

* * *

……時代を通じて人はキリストを異なった観点から見てきた。暴徒のように悪意に満ちてキリストを拒むある人たちは、キリストと弟子たちを「ヨーロッパ世界の力をひそかに傷つけ、次第に弱らせ、キリスト教の道德の制度をもたらしした者」と見なしている。他の人は経験から得たもっと明確な洞察力をもって、キリストを『勤勉、正直、真実、純粹そして親切の徳を促す制度、法律を支え自由を大切にする制度』を始めた人と見なしている。そしてこの制度は自由にとって必須であり、人を一つの大きな兄弟愛の内に統一するものであるとしている。

「ある人々は彼を『一人の完全な人物——歴史上無比の人』と見るが、彼の神性は否定する。数百万の人がキリストを偉大な教師として受け入れるが、現代の社会の条件には適用できないとしている。〔そしてマッケイ大管長は個人的な証をもって強調し次のように加えられた〕**真実のキリストを**

受け入れている人の何と少ないことであろうか。御父の独り子であるイエスは、世のために十字架にかけられるために、そして世の罪を負い、世を聖め、全ての不義から世を潔めるためにこの世に来られたのである。」

* * *

そして最後にマッケイ大管長は、人の経験が、ろうそくやランプから原子力と宇宙の神秘の領域にまで達した彼の生涯の間に得られた幸福な生活をする秘訣を話しておられます。ブリガム・ヤング大学での話の中で大管長はこう言っておられます。

「私は心から……長年の経験から、この人生における有益なもの、楽しみ、喜びそして幸福のためになると知っている。まず最初に神の王国を求めるようにとのキリストの勧めに従うよう、あなたがたに申し上げる。」

* * *

「……もしあなたがたが最高の成功をおさめたいなら、また人生の内で心に最大の満足を得たいなら、あなたがたの日常の交際において、イエス・キリストの福音の理想を実践しなさい。私はこの言葉をかえることも、ためらうこともなく申しあげるものである。私はその結果が私の言った通りになることを知っている。」

* * *

最後に一つの物語があります。

「……一人の狩猟監視官が、深い森の中に入っていって一本のひもが木に結ばれているのを見つけた。彼はどんな意味があるのか知ろうとひもについて行くことにした。やぶやおおいかぶさる枝を縫って、彼はできる限り進んで行くと最後に残ったひもの球を持った猟師に会った。そのひもは何の目的で使っているのかと尋ねると、猟師は答えた。『私は人がこの森の中で道に迷ったと聞いていましたので、もし私が方向感覚を失っても戻る道がわかるようにしておこうと思ったのです。』

私たちは皆いわば人間性という深い森の中を前進しているのである。ある人は方向感覚を失ってしまう。他の人々は賢明にも案内者を持っている。(私はこれを錨と呼ぶ) ぞうすると彼らは道を踏みはずして、人間関係の迷路に当惑することがあっても、もとの道に戻ってくることができる。繰り返すと、このいかりはイエス・キリストの福音の理想である。幸福、安全そして人格はこのいかりを持っていることから得られるのである。」

「私たちがこのいかりに結びつけられるように、そしてすぐにも人間性の領域に出帆し、神の王国のため奉仕し、忠実な働きができるよう神が助けて下さるように、イエス・キリストの御名によって祈り奉る。アーメン」

その本を焼きなさい

またこの記録を受ける時、それが真実なものかどうかをキリストの御名によって永遠の父なる神に問え。もし誠心誠意でその上キリストを信じながら問うならば、神は聖霊の力によってこの記録が確なものであることをあなたたちに示したもうにちがいない（モロナイ書10章4～5節）

ドン・ビンセント・ディ・フランセスカ

私は1888年（明治21年）9月23日シシリー島パレルモ県のグラッテリという町で、ジョセフ・D・フランセスカとマリアン・D・マリア・フランセスカの間に生まれました。1892年2月22日に私の母は死にました。それで私は兄のアントニンと姉妹のジョセフィンと、母の両親のもとで住むようになりました。

私は7才になって小学校に通い始めました。私の祖父は私が宗教上の訓練を受けるよう望んで、祖父の従兄ヴィンセント・セリオに教えて貰うよう手管を整えてくれました。私は聖書を読むことに非常に熟練していたので、11才になる頃には、教師は、私が非常に大きな賜物に恵まれているとよく褒めたものでした。

1900年11月に私は高校の宗教科に登録することを許され、1905年まで宗教について学びました。一方ニューヨーク市に移民していた兄のアントニンがアメリカに来るよう誘ってきました。それで私は17才の時にナポリを出帆し1905年10月12日にニューヨークに着きました。そこで私は、ある新教の教会のイタリア支部の牧師をしている私の兄の友人アリエル・デベロンに会いました。彼は私を教師として雇い会衆に奉仕するようにしました。彼は私が聖書を読む賜を与えられていることに強い印象を受け、私にニューヨーク市にあるノックス単科大学に学ぶようすすめました。私は彼の忠告に従い1909年に宗教上の単位を取得しました。

私は1910年2月のある寒い朝に遡るぼって私の人生に起きたいろいろな事を思い返す時、神が私の存在に心をかけてくださっていたのだということを感じずにはいられません。そ

の朝、牧師が病気で寝ており、信徒の問題で私と話したい重要な事があるから、彼の家に来るようにと、私はイタリアの礼拝堂の管理人から伝言を渡されました。

私がブロードウェーを歩いていると、海からの強い風が私に冷たく吹きつけてきたので、私は頭を下げ、顔を風からそむけていました。本のようなものが、ふたのあいた灰を入れる罐の上であって、廃品集めの車に持って行って貰うように置いてあるのが見えたのはこの時でした。ページの形と製本の様子から宗教の本であると感じました。好奇心にかられて私はその本を取り上げ、罐の側面を軽くたたいて本のページにかぶっている灰を落しました。その本は英語で書かれていました。私はとびらの頁をさがしましたが、破れてありませんでした。

本を手には、立っていると、激しい風にページがめくれました。そしてニーファイ、モーサヤ、アルマ、モロナイそしてイザヤ等の名前が一つ一つ私の目に入りました。寒い風がひどかったので、私は急いで汚れた本を新聞紙に包んで、歩き続けました。

牧師の家に着いて私は同僚のスカリロに少しお見舞いの言葉を言い、病気の間頼まれた礼拝の行事の勤めを引き受けました。私は自分のアパートへ帰る道すがら、手に持っている本と見かけた珍しい名前について考えていました。これらの人は誰なのだろうか。この予言者イザヤは誰だろうか。彼は私が聖書で読んだことのあるイザヤなのだろうか、それとも別のイザヤなのだろうか。

部屋に戻って私は注意深く破れたページをくって、イザヤ

の言葉の所にきました。私はそこを細心の注意を払って読みました。こんなに易しくわかる言葉で、このような教義を教えている教会の名前は、何というのであろうか。本の表紙ととびらのページはありませんでした。私は最初に開いたページに見証者の宣言を読んで彼らの証の力に印象づけられましたが、書物の出所の手がかりは他に何もありませんでした。

私はアパートの下で薬局でアルコールと綿を少し買って、この汚れたページをきれいに始めました。それから何時間か私はその本の中に何が書いてあるか読みました。私はモロナイ書10章を読むと部屋の鍵をかけ、本を手にとってひざまづき、この本が神のものであるかどうか教えて下さるよう御子イエス・キリストの名前によって永遠の父なる神にお願いしました。私は祈っていると、体が冷たくなっていくのを感じました。すると私の動悸が強く打ち始め、暖かな喜びの感情が私に起りました。私はあまりの喜びに満たされたので、表現する言葉がないほどです。私はこの本の言葉が神からのものであることを知りました。

私は教会で礼拝の勤めを続けましたが、私の説教は、私がこの本から見つけた新しい言葉を加味していました。会衆は私の言葉に非常に興味を覚えたので、私の同僚の説教に満足しなくなりました。そして会衆はなぜドン・ヴィンセントのような素晴らしい話をしないのかと同僚に尋ねました。これは私にとって、問題の始まりでした。私の同僚が説教をしている時、人々は礼拝堂を去って行き、私が説教壇に立つ時は常にとどまりました。この時、私の同僚は私に対して怒りました。

本当の不一致は1910年のクリスマスイブに始まりました。その夜、私は説教の中で私の持っている新しい本に載っている通り、イエス・キリストの誕生と使命について話しました。私が話し終りますと、幾人かの同僚が少しも恥ずかしがる様子もなく、公然と私の言ったことに反駁してきました。彼らの主張の不合理性に私は気持を悪くして、私はあからさまに彼らに反抗しました。彼らは私を非難し、懲戒的な処分が取られるように、譴責委員会に引き渡しました。

私がこの委員会に出ますと、彼らは慈愛深い忠告と思われるものを私に与えました。彼らはその本を焼くように勧めました。この本は非常に多くの問題を起しているし、牧師たちの調和を乱しているから、悪魔のものであると言うのであります。私は、彼らが焼くように頼んでいる書物は神の言葉であると証をし、ただ数ページが失われているのでこの本を出版した教会の名前はわからないと返事しました。もしこの本を焼くとするなら、神を悲しませることになると言いました。私は神を怒らせるくらいなら、むしろこの会衆から出て行った方がいいと思っていました。私がそう言うと、会議の議長は、当委員会は後程この件の決定をすると行って、話し合いを閉じました。

私が再び会議に呼び出されたのはやっと1914年になってからでした。副監督は友好的な調子で、前回の審問における委

員会会員のきびしい言葉は私を憤慨させたかも知れない。このことは遺憾である。なぜなら彼らは皆私を愛しており、私がこれまでいつもあれ程惜しみなく与えてきた貴重な援助に心を留めていたからであると言いました。しかし、私に服従——完全で絶対的服従——が規則であることを思い出させ、私が偽りを説き続けてきたため会員がこうむってきた苦しみにより終りを告げるために私はこの本を焼かねばならないと彼は言いました。

それに対して、私はその本の言葉を否定することはできないし、まして焼くことはできない。なぜならそのようなことをすれば私は神を怒らせることになるからであると、答えました。私はこの本が所属する教会が知らされ、その教会に加入できる日が来るのを、喜んで待ち望むと言いました。これを聞いて副監督は叫びました。「もう十分だ、十分だ。」彼はそこで委員会の下した決定を読み上げました。私はよき牧者の教会の牧師の職を取り上げられ、以前に私が受けていた全ての権利、特権も取り上げられることになりました。

3週間後私は最高教会会議に呼び出されました。私が以前に言った言葉を取り消す機会を与えましたが、私は取り消すことを拒み、教会会議は委員会の裁きを確認しました。私はこのようにして完全にその教会の組織から断たれました。

1914年11月に私はイタリアの軍隊に召集され、ナポリの港に送られました。私はフランスで戦闘を見、そこで第一次世界大戦によって引き起こされたあらゆる悲しみ、苦しみを経験しました。私はこの本から読んだ教えを覚えていたので、私は隊の幾人かの男たちにアンモン民の話——彼らが兄弟たちの血を流すのを拒んで、そのような大きな罪を犯すよりも、武器を埋めてしまった次第を話して聞かせました。従軍牧師が私のことを大佐に報告したので、私は翌日大佐の事務所まで護送されました。大佐は、私が兵士に話した物語を、アルマ書24章に記録された通り話して聞かせるよう、言いました。それからどうしてその本を持つようになったのか、またどうして英語で書かれ、名前のわからない教会の出版した書物を保有しているのかと尋ねました。私は罰として10日間パンと水をとってはならないと宣告され、その本のこともその話もしやべってはならないと命ぜられました。

戦争が終って私はニューヨークに戻り、そこで問題の一部始終を知っているメソジスト教会の牧師で、私の古い友人に会いました。彼は私が不当な扱いを受けたと感じていて、教会会議の会員たちにとりなしを始めました。そして私はついに、平会員として会衆に認められることになりました。私は、そのメソジストの牧師がニュージーランドとオーストラリアへ伝道に行くのに、ついて行ってもよいことになりました。

オーストラリアのシドニーで私たちは幾人かのイタリアからの移民に会いましたが、彼らはカトリック教会出版の聖書の翻訳に誤りがないか質問してきました。彼らは私の同僚の答えに満足しなかったので、同僚は彼らに怒りを覚えまし

た。それから彼らは私にそのことを尋ねました。私はモルモン経に真理があると知っていましたから、再びそこに書かれているあの地の民にキリストが姿を現わされた話をし、キリストがこう言われたことを話しました。「そはすなわち、われはこの群にあらざるほかの羊を有つ。われはかれらも集め来らざるべからず。かれらは必ずわが声を聞きて知るべし。されば、ただ一つの群と一つの牧者とのみあるに至るべしと言うことなり。」(Ⅲ ニーファイ15:17) 彼らがどこからそのような教えを知ったのかと尋ねるので、私は自分が見つけた本のことを話して聞かせました。その話は面白いものでしたが、私の同僚にとっては非常に不愉快なものでした。彼は再び教会会議に私のことを報告し、彼らの前の判決が確認され、私は教会から永久に断たれました。そしてその直後私はイタリアに帰りました。

1930年5月私はある情報を求めてフランスの辞典を見ていると、突然「モルモン」という項目を見つけました。私はその項を注意深く読んで、モルモン教会が1830年に設立され、この教会がユタ州プロヴォに大学を持っていることを知りました。私はそのプロヴォにある大学の学長に手紙を書き、この本と失われたページについて知らせてほしいと頼みました。2週間後に私は返事を受け取り、私の手紙が末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長に渡されたこと、そして大管長はその本——この本は確かにモルモン教会に属するものでした——と失われたページについて私に知らせたいと言われた旨知らされました。

1930年6月16日ヒーパー・J・グラント大管長は私の手紙に答えて、ロレンゾ・スノー大管長が宣教師をしていた1852年にイタリア語に翻訳したモルモン経一冊を、送って下さいました。グラント大管長は、ジョン・A・ウィットソー長老が当教会のヨーロッパ伝道部の部長をしていて、英国リヴァプールの本部にいるから、彼に頼めば求めに応じてくれるだろうと知らせて下さいました。2、3日してウィットソー長老はリヴァプールから私宛に手紙を書いて、全版とモルモン経典が世にもたらされたことを記した予言者ジョセフ・セミスの物語の小冊子を、送ってくれました。ついに私は、ずっと昔神の御手に導かれてニューヨーク市の通りで、罐の上に破れた本を見つけて以来、始まった物語の残りを知ったのでした。

1932年6月5日ウィットソー長老は私にバプテスマを施すためナポリに来られましたが、シシリー島のファシスト党员と反ファシスト党员の間に戦争が起り、パレルモの警察は私が島を離れることを許可しませんでした。このようにして私はこの時バプテスマを受ける機会を与えられませんでした。

翌年ウィットソー長老は、ジョセフ・スミスの小冊子をイタリア語に翻訳し、1,000部出版するよう、私に依頼されました。私は翻訳文を印刷者ジョセフ・グッシオに渡します

と、彼はセファル管区のカトリック司教に原稿を渡しました。司教は印刷者にその原稿を消し去るよう命じました。私はその印刷者を相手どって訴訟を起しましたが、私が法廷で得たものと言えば、彼にその元の冊子を返すようにという命令がなされただけで、しかもその冊子は既に彼が穴倉に投げこんでいたのでした。

1934年にウィットソー長老が伝道部長を解任されると、私は後任のジョセフ・F・メルル長老と文通を始めました。メルル長老は私の名前をミレニアル・スターの郵送リストに載せてくださったので、私は1940年に第二次世界大戦で郵送が中止されるまでそれを受け取っていました。1937年1月メルル長老の後任リチャード・R・ライマン長老は、私に手紙を書いて、ライマン長老とヒュー・B・ブラウン長老がある日ローマに行くから、私はそこで会いバプテスマを受けることができること知らせてきました。その手紙は戦争のため遅れて、間に合いませんでした。

その時から1949年まで、私は教会のニュースから全く断たれましたが、忠実な信者として生活し、時満ちたる神権時代の福音を説きました。私は標準聖典を持っていたので、何章かイタリア語に翻訳し知っている人に、このような挨拶をつけて送りました。「今日は、朝が明けます——エホバが語ります。」

1949年2月13日に私はソルトレークの教会本部にいるウィットソー長老と文通を再び始めました。ウィットソー長老は1950年10月3日に私の手紙に返事を書いて、彼がノルウェーにいたことを説明してきました。私は長い手紙を書き、神の王国の律法と誠命を守って、神の忠実な息子、清い僕であることを証明できたと思うから、早くバプテスマを受けることができるように助けてくれるよう、ウィットソー長老にお願いしました。ウィットソー長老はスイス伝道部のサミュエルE・ブリングハースト伝道部長に、シシリー島へ行って私にバプテスマを施すことができるかどうか尋ねました。1951年1月18日ブリングハースト伝道部長はシシリー島に着き、私はパレルモ県のイメレセでバプテスマを受けました。教会の記録によると、明らかにこれがシシリー島で施された最初のバプテスマでした。それから1956年4月28日私はスイスのベルンにある神殿でエンダウメントを受けました。

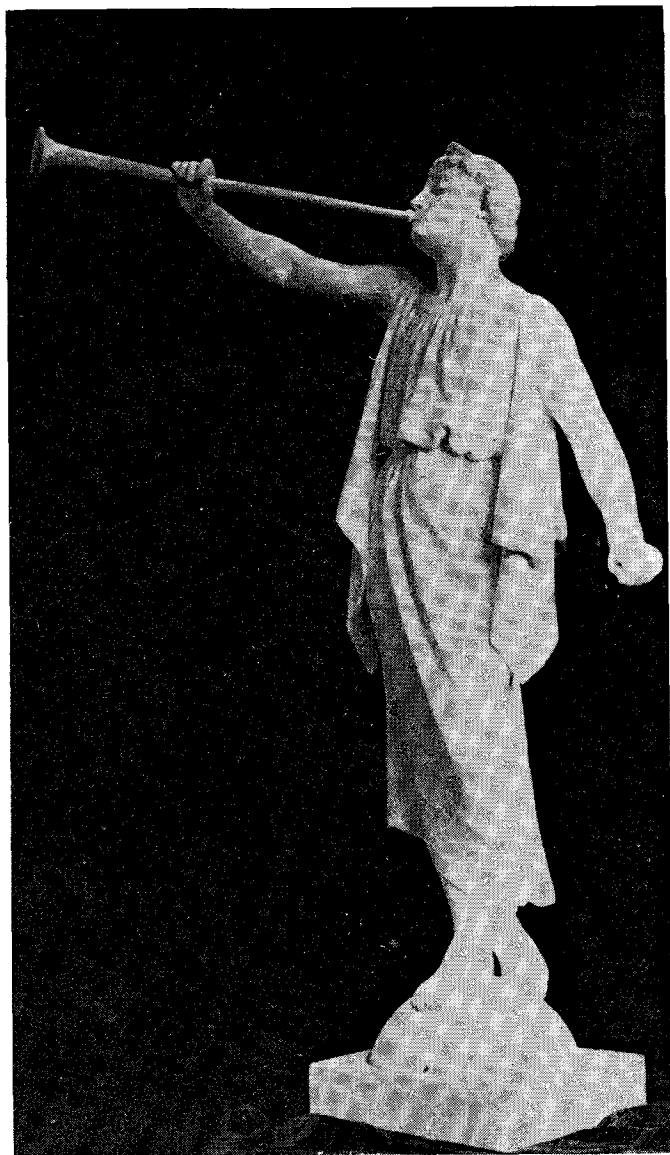
ついに私は天の御父のみ前に行けるのです。私はあれほど昔ニューヨークで灰の缶の上にあった、見知らぬ本を得たことによって、真の教会かさがし求め、そしてさがし出した結果、私は今、第二の位を保つことができたと感じています。

ドン・ヴィンセント・ディ・フランセスカ長老は1966年11月18日イタリア、ゲスタ・グラテン(パレルモ)で亡くなりました。

サイラス・ダーリン と 天使モロナイの像



アルバート・L・ゾベル, Jr.



ソルトレーク神殿の東側中央の尖塔に立つ天使モロナイの像は、この末日に回復された永遠の福音の黄金の真理を象徴している。

この天使の像は、1863年11月22日プロボの南9.6キロにある小さな町スプリングビルで生まれたサイラス・E・ダーリンの作になるものである。彼は坑夫トマス・ダーリンの8人の子供の2番目であった。

スプリングビルのあたりには、パイウテ族、ユテ族のインディアンが無数にいた。秋になるとインディアンは山野に自分たちの住まいを設営することを許され、冬には獣の皮や獲物の肉を開拓者に売って生活していた。若いサイラスは家の近くのごつごつした山を好んだように、これらの隣人インディアンを愛した。彼は学校で使っていたスレート（スレート板をノート代りに使っていた。訳者注）に、その日の授業を書くよりも絵を描くことがしばしばあった。

彼は長老派の牧師の学校にいたが、その牧師は彼に美術の才能を伸ばすように勧めた。ある時、レオナード師は、もっ

と資金が要ることを知らせるため、老朽な煉瓦作りの学校の絵を描いて、東部へ送らなければならないことがあった。彼はその絵を描くようにサイラスに頼んだ。そして間もなくそのように事が運んだ。若いダーリンは既に本当の画家であった。自分の作品によってお金を受ける人になっていたのである。

1879年の春、彼はプロボで学校に通い美術を学ぶお金を稼ぐため、ユタ州シルバー市にある父の鉱山に働きに出かけた。彼は最初自分と三人の従業員のために炊事をした。次いで彼は、鉱石を選り分け、一輪手押し車に乗せ、立坑まで運んでふるいにかける仕事を得た。それは荒っぽい環境の中の激しい仕事であった。彼はそこで約6ヶ月間働いた。

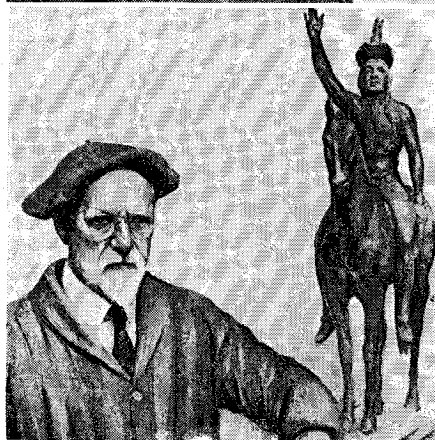
その日坑夫が柔らかく白いそして白亜質の粘土にぶつかった。ダーリンは、製作意欲にかられて、道具を間に合わせて作り、二つの実物大の頭像をこねあげた。彼は家で粘土を使って実験したことがあるし、またジャックナイフを使って木に彫刻したことも、スケッチをしたこともあると言った。粘土のモデルは彼の絵と一緒に1879年10月ソルトレーク市の展覧会に送られた。

翌春シルバー市、C. H. プランチャードは、ダーリンの才能に非常に感心して、ソルトレークシティの金持ちの鉱業家ジェイコブ・ローレンスと相談した。そしてダーリンをボストンの彫刻家トルーマン・H・バートレットの彫刻室に送るための資金を二人で都合した。バートレット氏はこの青年について1880年6月12日、デゼルト・ニュース宛に手紙を書いている。その一部にこう言っている。「彼の父親は資産家ではありませんから、息子の費用を長く支えられるとは思えません。この少年の授業料はただですから、彼が要るのは食費代と衣服代だけです。この少年は彫刻の素晴らしい才能を持っていますから、もしよい教育を受ければ、自分自身にも彼に関心を持つ者にも榮譽をもたらすでしょう。」

何人かの人がダーリンの才能を伸ばすことに関心を持っていた。そして彼の進歩は流星のように目覚しかった。1884年2月に彼はソルトレークシティに彫刻室を開くと発表した。6月の終りには東部へ勉強に行ったと伝えられた。そしてその年の12月彼はパリへ行こうとしているとの知らせがあった。

彼は1891年6月16日マサチューセッツ州ロックスベリーのヴィットリア・コロナ・ミューレーと結婚すると、すぐにソルトレークに戻り、そこで1894年の冬まで仕事をした。この実り多い期間に、彼はブリガム・ヤング記念碑を彫刻した。この記念碑は開拓者がソルトレーク盆地に着いてから、50周年記念の日に除幕式が行われた。彼はまた大管長会員の胸像も彫った。

管理監督のウィリアム・B・プレストン、第二副監督のジョン・R・ウィンダー、神殿設計者D・C・ヤングはダーリン氏と共に、1891年7月21日大管長会と会い、当時ソルトレーク神殿の塔の先端に被せられた石の球の上におく尖塔の絵



(上) 開拓者の母の記念碑

(下) 自分の胸像を背にしたダーリン翁

を提出した。彼らはダーリンの描いた、天使がラッパを吹いている絵を持っていた。

1ヶ月もたたない8月19日に、神殿の塔完成の設計は大管長会に承認された。設計者は東中央の尖塔の上に置く天使の像製作にどれくらい費用がかかるか、ダーリン氏と相談するように言われた。

オハイオ州サレムにある彫刻業者W・H・ミューリン社は模型から「24打ちの銅」で379cmの像を作った。この会社は今もミューリンズ製造株式会社として仕事を続けているが、1890年代の記録はもう残っていない。またこの会社もケネコット銅株式会社、それにその子会社チェイス・プラス・アンド・コッパー社も「24打ちの銅」が何を意味するかよくはわかっていない。ある冶金学者は、1平方フィート24オンス(1平方cm0.73g)のことかも知れないと言っている。これが正しいとすると銅の厚みは約0.081cmになる。像を作るのに比較的薄い規格の銅が使われたのかも知れない。

1892年4月6日水曜日およそ4万人の人がテンプル・スクエアに、そして数千の人々が付近の通りに、よく見える場所に集まって金箔をかぶせた天使の像がすえつけられるのを見た。その日の一般大会で会員たちは、ソルトレーク神殿を完成し、1年後の1893年4月6日に献堂できるよう、仕事につく決心をした。

ある人は「天使がラッパを吹いている動作」という説明が



テンブルスクエアにあった頃の「ブリガムヤング記念碑」現在はソルトレーク市内にある

よくわからなかった。この設置を報ずるデゼレト・ニュースの説明ではモロナイと呼ばれている。何年も後、ダーリン氏は1938年7月30日付で「親愛なるヤング殿」宛に手紙を書いている。（残念ながらこのヤング氏は誰であるかわからない。これは70人最高評議員会のリーヴァイ・エドガー・ヤングであったかも知れないし、設計者のドン・カルロス・ヤングであったかも知れない）この手紙はこうに書いてある。

「ソルトレーク神殿の頂上におく像を作った時、『私が何を考えていたか』とのご質問に答えて。モルモンの天使『モロナイ』の像を作るという委任を、私のできる限り立派に遂行しようという以外に、何の考えもなかったとしかお答えできません。」

「他のことは何も知りません……………」

サイラス・ダーリン

確かにダーリン氏は偉大な彫刻家になっていったのであった。1896年1月彼は国会図書館の仕事をしていたと記されている。彼の開拓者記念碑の除幕式が1897年7月テンブル・スクエアで行なわれた時、彼は喜びの挨拶の電報を打った。この記念碑がソルトレーク市の現在の仕置に移された。1900年の開拓記念日の式典において、彼は話をした1人であった。

彼は成人になってから殆んどボストンで過ごしたが、しばしば「故郷」であるユタへ来た。1920年代にソルトレークを訪れた時、彼はテンブル・スクエアに立ち寄った。そこで彼は

当時テンブル・スクエア伝道部の伝道部長をしていた70人最高評議員会会長リーヴァイ・エドガー・ヤングからの挨拶を受けた。この2人の旧友と一緒に、世界的に有名なダーリン氏の像について、彼の作品である歴史的な人物について、また権威と威厳をもって、感動的に彫られたアメリカンインディアンの肖像について語り合った。ジョン・I・マックレランのオルガンリサイタルを鑑賞した後、彼らはかもめの記念碑を囲むふち石にすわって、神殿の尖塔の上に立つ黄金の像をながめていた。

ダーリン氏はこう言った。「『天使モロナイ』は、私の作品のうちで一番神に近づけてくれると思います。天よりの使いと交通することが、どんなことかわかったような気がしました。」そして彼はこうつけ加えた。「私たちは人生において、私たちのあるがまま、そして私たちが考えることしか創り出すことはできないのです。」

1932年7月24日彼はユタ州スプリングビルで、自分の作である開拓者記念碑の除幕式に、話し手として出席していた。そこで彼は母についてこう言った。「母には苦難はありませんでした。何故なら母には家族があり、愛が家庭の中に溢れていたからです。」

1934年6月ユタに再び戻る旅で、ダーリンは、飛行機による22時間の旅と、彼の両親が1850年代の初期に3ヶ月かかって大平原を横切った旅とを比較した。

彼は述懐した。「私の技術は美を愛した母ジェーン・ヘイマー・ダーリンに負っています。私が子供の頃、母は粘土でいろいろなものを作り、窯で焼きました。これは継承されたものです。私は子供の頃から美術が好きで、スケッチや型を作ることを始めました。そして母は父トマス・ダーリンと一緒にあってあらゆる点で励ましてくれました。」

勿論彼の職業としての生活の中には、何年もの挫折があった。1884年彼はボストンで、学生の時、ポール・レビアの馬上の像を、焼き石膏で作った。彼は成功間違いなしと信じて、ソルトレークシティの彼の彫刻室を訪れる人々にその像のことを話した。記録によると「1884年以降、ダーリンは市施政者が出る毎にボストン市庁へ毎年自分に像を彫らせるよう訴えた。」

それから55年後の1940年1月初めに、モーリス・I・トビン市長は、ジョージ・ロバート・ホワイト基金の理事長として、この78歳の彫刻家に、彼が約8,000万円の契約で、ポール・レビアの像を青銅で作るよう許可された旨知らせた。この像はレビアの有名な乗馬が始まった場所に近い、ポール・レビア散歩道に置かれた。

ユタ生れで最高のアメリカの彫刻家サイラス・エドウィーン・ダーリンは、83歳の誕生日の8日前、1944年11月14日マサチューセッツ州アーリントの自宅で死んだ。彼は未亡人と一人の息子を残して逝った。彼のもう一人の息子は第1次大戦の時、フランスの戦場で死んでいる。

教会の広く分散している各地域から次のような反響があった。「教会幹部が神殿をユタ州プロボとオグデンに建設する計画を立てていることを聞いて私は喜んでいます。少なくとも二つの神殿が建設され献堂される間、世の終りが来るまで、数年間の猶予が与えられているのですから。」

確かに時は知らされていないがイエス・キリストの再臨と共に地球が揺れ動き、各要素が緩み大きな都市や陸が破壊されることを頂点として、地の住民は前途に困難な時期を迎えるのである。し

最もよく守られている世界の秘密

かし信仰深い者にとって、それは終りとはならない。

彼らは、キリストが自ら統治される福千年に生活する。彼らは復活した人々と生活し、意見を交換する。サタンと彼の力が縛られていて、彼らは結婚し、子供を育て、神殿やその他の所で主の業のために働き、彼らの機会は何と輝かしいものになることだろうか。

ウィルフォード・ウッドラフ長老（後に大管長になられた）は1877年9月16日ソルトレークタバナクルでこう言った。

「救い主が来られると千年の期間が救いの業に捧げられます。そして神殿がこのヨセフの地——南北アメリカ——全地に、そしてヨーロッパやその他の地域に建てられるでしょう。そして救い主が『全ては終わりました』と言って、王国を父なる神にお返しされるまでに、肉体にあって福音を受け入れているセム、ハム、ヤペテの全ての子孫は、神の神殿で救いの儀式に与らなければなりません。」（説教集 19巻 P. 230）

神殿は「私たちの死者を救うという明らかな目的のために、仕事及要求する量に応じてそれだけ速く」建てられると、ブリガム・ヤング大管長は言った。（説教集 2巻 P. 138）彼はまた数百、数千と神殿が建てられることを約束した。（説教集 10巻 P. 254 及び 3巻 P. 372 参照）

大管長会の第二副管長であったチャールズ・W・ペンローズは、1918年4月5日の総大会で次のように言った。「……しかし輝かしい福千年の日が完全に始まると、大陸の北から南へのびるこの偉大なシオンの地（アメリカ）のここかしこに、神殿が建てられるでしょう。そして死者のための仕事が続けられ、シオン山の救い手たちが私たちの子孫がふえるでしょう。」（大会報告 1918年 4月 P. 16）

教会の大管長ジョセフ・F・スミスは、神殿が「ヨーロッパに点在」するであろうと言った。（「星」1906年 P. 332）スイス神殿はヨーロッパに幾つか建てられる神殿の第一番目の神殿に過ぎないと、デビッド・マッケイ大管長は言われた。（デゼレト・ニュース 1953年 4月 3日 P. A1, A9）

福千年は救い主の降臨と共に始まる。再降臨の実際の時期は、この宇宙で最もよく守られている秘密である。天の使いも知らない。しかし予言的な徴しは聖典に記録されている。そして善男善女はそのことを学び熟考しているのである。

当教会の会員が今日なす仕事はよく定義されている。すなわち、バプテスマと他の場所でなした誓約に、毎週聖餐に与ることによって新たにし、それに添って生活することである。ワード部、ステーク部、伝道部、支部で忠実に働きなさい。家族を義しく守り育てなさい。系図の探求と神殿に入ることによって「シオン山の救い手」となりなさい。未来のことについて不必要な心を悩ませてはならない。アルマの言葉によれば、この生涯は「神に逢う用意をする時期」である。（アルマ 12: 24）そしてもう1人のモルモン経の予言者は、次のように言っている。「ごらん、私がこれらのことを言うのはお前たちに知識を与えるためであって、またお前たちが同胞のために務めるのは、ただお前たちの神のために務めるのであることを悟らせるためである。」（モーサヤ 2: 17）

若い人々へ

祈りについて

管理監督 ジョン H. バンデンバーグ

若い男女が日常生活でいろいろなチャレンジに会って主の助けを求めるのは、本当に成長したことを示す徴です。主から助けを受け、導かれなかったら努力しても空しいということを、数多くの偉人が悟っています。ベンジャミン・フランクリンは、憲法制定会議の参加者に祈りをその議事に盛り込むよう強く勧めて、こう言いました。「皆さん、私はもう年をとりました。しかし年をとればとる程、私はこの真理——神は人のできごとを治めたもうことを増々強く確信するようになりました。それで私は、今後この会議で毎朝仕事に移る前に、私たちの審議の上に天の助けと祝福をお願いする祈りを捧げるよう、動議を提出させていただきます。」

映画監督のセシル・B・デミルは祈りについてこう言っています。「私は祈りなくしては一日も生活できません。祈りはこの世で一番大きな力を持っています。」

ヨブは人生で最も苛酷な試練に会ったと聖典は伝えています。彼は富、家族、健康、それに友を失いました。それでも彼は神に対する揺るぎない信仰を堅持しました。ヨブの言葉から多くの偉大な霊的洞察力が得られます。ヨブが同時代の人々について言っていることは、今日の私たちの社会の多くの人々の状態を描写しています。彼の言葉はこうです。「その日をさいわいに過ごし、安らかに陰府にくだる。彼らは神に言う、われわれを離れよ、われわれはあなたの道を知ることを好まない。全能者は何者なので、われわれはこれに仕えねばならないのか。われわれはこれに祈ってもなんの益があるか」と。(ヨブ21:13~15)

私たちの大いなる富、医学の進歩、私たちを取り巻く楽しみがあるため、ある者は天の父なる神に常に祈る必要のあることを無視しているかも知れません。今日多くの人がヨブの友人と同じことを言っているようです。「われわれはこれに祈っても、なんの益があるか。」

人は皆人生を築いていこうとする時、祈りの重要性を悟ることが是非共必要なのです。なぜなら真実「主が家を建てられるのでなければ、建てる者の勤労はむなしい、……」(詩127:1)からです。

祈りは私たちの生活に強力な力をもたらすことができます。しかしどのように祈れば祈りを効力あるものにできるか学ばねばなりません。子供の時私たちの祈りは、知っている言葉の単なる繰り返しであったかも知れません。大きくなれば、私たちはもっと深く、もっと大きな意義を感じて祈りを考えます。

まず祈りは神と話すことであるということを理解しなければなりません。この祈りの機会には真剣に、十分な意図をもって臨まなければなりません。なぜなら私たちの祈りが聞きとげられるためには、私たちは完全な信仰と謙遜な態度をもって天の父なる神に近づくことが大切だからです。神

が私たちの努力を補ってくださるよう、私たちは神の御前に神に対する信頼と私たちの限界を告白しなければなりません。

私たちは謙遜に信仰をもって天の父なる神に近づく時、どのような助けを神に願ってよいか知っていなければなりません。アミュレクはモルモン経の中で、私たちは生活のあらゆる領域で助けを求めて祈るべきであると言っています。彼は次のように勧めています。「神は人を救う大能を具えたもうから、神に憐みを求めよ。へりくだってたえず神に祈れ。

牧場に居る時はあなたたちの家畜の群について神に祈れ。

家に居る時はあなたたちの家族全体について朝も昼も神に祈れ。

あなたたちの敵の力を防ぐことができるように神に祈れ。一切の義しいことに敵対する悪魔を防ぐことができるように神に祈れ。あなたたちの田畑の収穫が豊であるよう、その作物について神に祈れ。牧場にあるあなたたちの家畜がふえるように神に祈れ。こればかりではない、あなたたちが一人で部屋に居るときも、秘密の所に居るときも、また野に居るときも心にあることをうち明けて祈れ。声をあげて主に祈らない時でも、自分の為また自分のまわりの人々の為を思ってたえず心の中で主に祈れ。」(アルマ34:18~27)

このように私たちは、義しい努力に対しては何であっても祈りを通して主から助けを受けることができます。しかし皆さんは青年男女として次のことを十分理解していることが大切です。(1)主が私たちの祈りに答えられる前に私たちはどのようなことを果さなければならないか。(2)主はどのように祈りに答えたもうか。

聞きとげられる祈りには私たちの側に大きな努力が要することを、主は聖典の中で非常にはっきりさせておられます。このことは主からオリヴァ・カウドリに、はっきり説明されています。オリヴァは翻訳の賜を願い求めましたが、主が彼の願いをいれてくださるように、自分の分を果していませんでした。主はオリヴァに祈りについて次のような勧めを与えられました。「見よ、汝いまだ悟らず。汝はひたすらわれに願いし時はこれを与えらるるならんと思えり。されど見よ、われ汝に告ぐ、汝心の中によく思い計り、その後願うこともし正しからば汝願わざるべからず。……」(教義と聖約9:7~8)

私たちの祈りを意味あるものにしようとするなら、このことは私たちが理解しなければならない、非常に重要なことです。私たちが何か決定するに際して主の助けを必要とする時、主は私たちがまず私たちの理解力に基づいて仮の決定に達し、それから私たちの決定が確認されるか否認されるかを尋ねて祈るよう期待しておられます。

ここで疑問が起ります。「主が私たちの決定を確認されるか否認されるか どうしてわかるだろうか。」主は上にあげたオリヴァに対する勧めを与えられた時、次のような指示をく

だしました。「……願うこと正しからば、その時われ汝の心を内に燃やさん。これによりて汝にその正しきを感じしむ。されど願うところ正しからずば、かかる感なくして汝の心は次第に鈍くなり、そはついに悪の悪たるを忘れしむるに至らん。……」(教義と聖約9:8~9)

私たちの祈りが答えられるためには、主がわたしたちに期待される分を果してから、主の助けを願う必要があります。それから私たちは主が与えたもう答えを見分けるため、聖霊が知らせるのがわかるよう鋭敏にならなければなりません。

私たちは祈りに対する答えが、私たちの意志に添わない場合もあることを知る必要があります。しかし、もし私たちが謙虚であって、聖霊の導きに従うなら私たちが受ける答は、私たちの成長と進歩のためになるのです。

私たちは現世の試しを避けるように祈ることはできません。私たちは現世の試しに立向う特質とそれを克服する力を求めて祈ることができるのです。このことを理解しなければなりません。

私たちが祈りを通して神の力を受けるように祈ります。マッケイ大管長はとてもすばらしく表現されています。

「私は皆さんがいつの日か、霊を悩ますような強い望み(このことを言うに当って、私は心から皆さんのことを心にかけているのですが)克服できない難攻不落の壁に会いたいというような強い望みを持たれるよう希望します。しかし壁の向うに義務がある時後に下がって『私にはできない』と言わないでください。あなたはしたいと熱望するかも知れませんが、それだけでは十分ではないのです。テーマの聖句となっているヤコブの言っていることを行ってください。すなわち『力を神に願い求めなさい。しかしそこに信仰と、自分ができる能力への信頼がなければいけない。』

「あなたは今あなたの立っている所から、壁の所まで行くことができます。あなたがそこに達すると、あるいは行ける所まで行くと、あなたの祈りが答えられて、初め立っていた所からは見えなかった、かくれたはしがあって登ることができるか、戸があるのに気がつくでしょう。神の御手が示されたのです。その時あなたは無限なる者に対して答えることができたのです。そして聖霊の導きを受けるにふさわしいとはどういうことかがわかるのです。そして聖霊はいろいろな事柄においてあなたを導きます。」

知恵は努力を通じてもたらされます。全ての善い事は努力を要します。持つに価するものは、あなたの体力、知力、そして霊の力の一部を代価として求めます。「求めよ、そうすれば、与えられるであろう。捜せ、そうすれば、見いだすであろう。門をたたけ、そうすれば、あけてもらえるであろう。」しかしあなたは求めなければなりません。たたかなければなりません。捜さなければならぬのです。

(人生の宝 P.303~304)

イソップ 物語

ライオン
と
ねずみ



ミルフ・ハマー ビル・ウォルシュ

ああ強い王さま、どうかはなしで……もういたずらをしません。いつかあなたを助けてあげられると思いますから。



しめしめ、よくねているぞ。かおの上をはしてやろう。



ハッ つかまえたぞ ハッ……ねずみめ



ホー おまえみたいなチビがおれを助けることなんかできるもんか。だがまあいいや。行け、ねずみめ。



ある日……あ、あみだ。あ、ウーつかまった！



あなたのこえがきこえました。さあ おんがえしに助けてあげましょう。

おれをここから出してくれ。そうすればいつもお前を守ってやるよ。ねずみ君。



すぐに自由にしてあげますよ。

ボリ

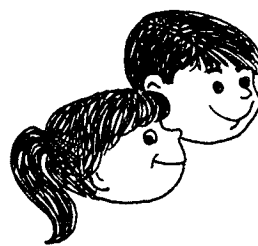
ボリ



助かった！ ありがとう、ねずみ君。

どんなに小さくても親切な行いはむだになりません。

聖 徒 の 道 68. 9

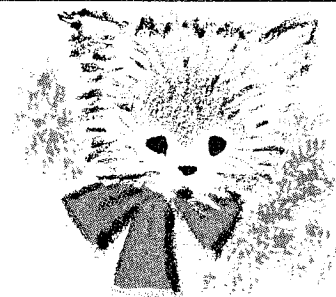


せいとみち 聖徒の道



1968年9月号

こどものため



おくもの ティミーへの贈り物

フランスス・カルフィ・マトランガ

それはかわいいティミーのたんじょう
そ 日のことでした。ティミーの友だち
のコンウェイのふたごは、ティミーに贈り
物をあげようと思いました。でもティミー
はめくらでしたので、見えなくてもティミ
ーが楽しめるものでなければなりませんで
した。「あなをティミーにあげたらいい
だろう」ジーンとジムは頭をよせて、い
つしょうけんめい考えました。
「ティミーがさわってわかるものでなき
ゃいけないな」ジムが言いました。
「そうね、そして聞くことのできるもの
の方がいいわ。」ジーンが言いました。
「そうだな」「でもなにがいいだろう。」
二人はいっしょうけんめい考えました。
するとジムがこう言いました。「そうだ
もけいを作るねんとはどうだろう。ティミ
ーは手でさわっていろいろなものを作るこ

とができるよ。」
「そうね、ただねんどもからは何も聞く
ことができないね」、ジーンはジムにこう
言いました。そこで二人はまた考えました。
「しばらくしてジムはぼくたちのにわか
ら少し花を持って行ったらどうだろうか」
と言いました。
「花ならティミーもさわることができる
し、においだってかぐことができるよ。」
それはすばらしいわ。」「でもやっぱりティ
ミーが聞くことのできるものの方がずっと
いいと思うわ。それに花はすぐかれてしま
うし……。やっぱり私はティミーがずっと
持っていられるものをかってあげたいわ」
「いくらお金があるの」兄がたずねまし
た。彼女は頭の中でかぞえて「五百円ある
わ」と言いました。
「それでぜんぶ？」ジムが言いました。

彼女はうなづきました。「わかった。でもティミーは——とくべつな人だ。彼はとてもえらいなあ。もしぼくが病気になって目が見えなくなったとしたら、ぼくは死んだ方がましなくらいだと思うよ。」

「よし、ぼくたちはそのお金をぜんぶ使おう。でもまだなにをかうかきめていなかったんだね。」

「店でさがしたらどうかしら」妹がいました。「そうすればティミーに、いちばんいいものが見つかるかもしれないわ。」

ジムはさんせいし、二人はお金を持って出かけました。おもちゃ屋さんに二人は、ティミーがさわって聞くことのできる、音楽つきのびっくり箱を見つけました。二人はハーモニカを見ていました。その時、あまりまぞくしていなかったジーンがさけびました。そうだわ。ティミーのよろこぶものがわかったわ。」「なに」

「見てごらん」ジーンは目をかがやかしながら少し向うの、かわいい動物を売っている店の方を見ていました。そこで彼女はまっすぐ小ねこのいる所へ行きました。

「小ねこはなんてかわいいんでしょう。」はい色の小ねこ、黒い小ねこ、そして青い目の小さな白い小猫がいました。

「私はこの小猫が好きだわ。」ジーンは白い小ねこをさしてそう言いました。「とてもきれいな目をしているわ。青い目をしたねこはめったにいないわ。ティミーもこの小ねこが好きになると思うわ」

ジムも青い目をした小ねこがいちばん好きになりました。「でもティミーは小ねこのせわができるかな。」彼は大きな声でそう言いました。「彼のお母さんに助けてもらわないとだめでしょうね。」「ただお母さんはそんなことかまわないと思うわ。ティミーは動物が好きだし、それに彼の誕生日ですもの。」

店の人が二人の所へ来ました。「いらっしゃい。」

ジムが話しました。「友だちにたんじょうの贈り物をかってあげたいんです。ぼくたち五百円持っています。この白い小ねこを買えませんか。」

「うん、——五百円でこの小ねこをくれるよ。」「ワアー、どうもありがとう。」子供たちはうれしそうにさけびました。

「さっそく二人は店の人がくれたボール紙の箱に小ねこを入れてティミーの家に急ぎました。「ティミーたんじょう日おめでとう。」二人はにこにこして、彼の手に小ねこをわたしながら言いました。

ティミーは友だちが自分のたんじょう日をおぼえてくれていたので、とてもうれしくなりました。「小ねこだ。」ティミーはやさしく指でさわりながら小さな動物を感じて、さけびました。ティミーの顔は明るかがやきとてもうれしそうでした。

「あなたも好きになると思ったわ。」ジーンが言いました。「私たちはあなたになにかとくべつなものをあげたかったの。」

「なにか君がさわって聞くことができるものを。」とジムが加えました。

「ニャーオ」小ねこがなきました。

「聞えるよ」ティミーはわらって言いました。「どんな色をしているの。」

「目は青であとは白だよ。」ふたごの二人はこたえました。

「青い目だって、とてもすてきだ。」ティミーは小さなやわらかい毛の小ねこを顔にだきしめました。「この小ねこはこんなにやわらかい。ぼくとてもうれしいよ。ジムとジーンすばらしい贈り物ありがとう。ぼくはこの小ねこをフロスティと呼ぶよ。小ねこはその名前気に入ると思う?」

「ニャーオ」フロスティはティミーのほおをなめてなきました。

た小さな男の子そっくりの顔だった。でも、泣くまいとしていた。ポーアンはもう以前のほらふきのえばった男の子のようではなかった。

「ポーアンどうしたんだ。」ジーヤはおどろいてさけんだ。

ポーアンはゆっくり説明した。「全くとつぜんに家族の責任を引きうけて家族の長となることはやさしくはないんだ。ぼくは自分が本当はどれほど自信がなくて、こわがりか、お母さんと妹たちに知られたくなかったんだ。それでぼくはほらをふき、何でもえらそうにふるまうようにしてきたのさ。」

「君はあれだけほらをふいてこわがったんだって。」オービルがたずねた。

ポーアンはうなづいた。「小さな男の子が暗い中をこわくなくようにするため口笛を吹くように、ぼくはえらそうにすることで同じことをしていたんだ。本当は家をたてることも、れんがを作ることも知らないんだ。ぶどうの木をそだてることも。この家やぶどうの木のこと、母も妹たちを幸福にす

ると思ったから、ただ知っているようにふるまっていただけなんだ。でも本当はとてもこまっていたんだ。」

ジーヤが言った。「もう心配するな、ポーアン。わらを使ってどうやってよいれんがを作るか教えてあげよう。」

「ぼくはお父さんのぶどう畑から強くて丈夫な切り枝を持ってきてあげよう。」オービルが言った。「そうすればぶどうの木をもっとはやく大きくさせることができるよ。」

「親切に言ってくれてありがとう。」ポーアンは感謝して言った。「友だちができたから、もうこわいものはない。ぼくはもとのぼくにもどるよ。」

「本当の自分のままでいるのがいつもいちばんいいんだ。」ジーヤがやさしく言った。「その通りだ。」オービルがさんせいした。「ぼくたちが本当に君を知ったから、君がぼくたちの中に住むようになったんだ。そのことがとてもうれしいよ、ぼくたちは君を手伝ってあげよう、そのために友だちがいるのだから。」



ろう。二人はボーアンが悪いれんがで家をたてるのをほっておくのは、おもしろいことだと思っていたのである。

しかしジーヤは一晚中ねがえりをうって考えこんだ。ボーアンにしかけていることはただのじょうだんなのだからか。なぜかジーヤは笑う気持ちになれなかった。

夜が明けるとすぐジーヤはオービルの家に急いだ。「オービル、本当のれんがはどうして作るかボーアンに知らせてやろうよ。」

「どうして」オービルはおこって聞いた。「ぼくはじまん屋のボーアンを笑ってやりたいんだ。」

「でもあまりいいことにはならないよ」ジーヤは言った。「ぼくたちは何もボーアンのお母さんと妹さんには悪い気がしていないんだ。雨が降って彼らの家がこわれると彼らもひどいめにあうよ。」

そこでオービルは考えた。そして言った。「ぼくはそのことを考えていなかった。そうだボーアンを助けてやろう。でも彼はぼくたちの助けを受けられるだろうか。」「やってみようよ。」

ジーヤは言った。

ジーヤとオービルが着くと、ボーアンはもうれんがを作っていた。

ボーアンは手を腰において、自信ありげに言った。「ぼくは立派なれんが作りだろう。あのれんがの山を見てくれ。」

「ぼくたちはそれを見にきたのだよ。」ジーヤは言った。「あのれんがでは強い家は決してたたないよ。」

「どうして」ボーアンは言った。

「じょうだんだろう。」「いいや」オービルが言った。「君はわらをれんがに入れていないだろう。そんなれんがは長もちするわけがないよ。」

「れんがにわらを入れる……」ボーアンはおどろいてさげんだ。ジーヤとオービルは二人ともうなずいた。

「わらがどろをかためる役わりをするんだ。」ボーアンはジーヤとオービルを見わたした。「どうしてそれをもっと早く言ってくれなかったんだ。」

ジーヤはちょっとこまった顔をした。「君は何でも知っていると思ったのさ、ぼくたちは、君が家をたて終って、それからこなごなにこわれるのを見るのがおもしろいと思っていた。でもそれはだんだん悪いことだと思うようになったんだ。」

オービルが途中で言った。「それでぼくたちは、たて始める前に知らせに来たんだ。もっと早く言わなくてごめんね。」

ボーアンはただつつ立って、二人を見つめていた。

「あんまりおこらないでくれ。」ジーヤが言った。「ぼくたちは君と君の家族に本気で害を与えるつもりではなかったんだ。」「ぼくは君たちのことなんかおこってはいないよ。それより自分自身に対しておこっているんだ。」とボーアンは言った。

「どうして」ジーヤとオービルはともびっくりして聞いた。

ボーアンの顔はくしゃくしゃになっていた。それは今にも泣きそうになっ



おかしであそびましょう

ペギー・ケイスゼル

おうちでもピクニックへいったときでも、かんたんに

「ちょうこくあそび」をすることができます。

ざいりょう

いろいろなおおきさのおかし、ほしぶどう、びよ（めにつかう）ようじや、ほそいぼう、（おかしをむすぶためにつかう）ふるいはさみ、かんそうしたくだもの。

じかんをきめて、つくるものは、ひとでもどうぶつでもなんでもよいですから、すきなものをじゆうにつくってください。

しんぱんをひとりかふたりきめて、一ばんじよずなものをえらび、おかしを一ふくろしょうひんにあげてください。

ちょうちょについて



ちょうちょは面白いことに、世界中どこにでもいて、バラの花びらのように弱々しく見えますが、実際はそうではないのです。

本当に北極圏でも住めるちょうちょがあります。そんなちょうちょはとても珍らしいですから、ちょうちょの中でも一番きょうなものです。ちょうちょがとまる草の葉1枚もないサハラ砂漠に住む別の種類もあ

ります。一生の中にめすのちょうちょは100から数千の卵を生みます。卵は多くの場合緑ですが、時々黄色であり、場合によっては青や赤い色をしていて、貝のような模様がついていることもあります。でも卵はとても小さいのでけんびきょうで見ないと見えません。おすのちょうちょは甘いにおりを出してめすをひきつけます。かおりのもとが羽についていて、そのかおりが空中にただようように、小さな空気のかたまりがこのかおりのもとから出ています。

ちょうちょはいろいろな色がついて見えますが、先が昆虫の羽に当って色を作るのです。羽は小さなうろこでおおわれ、ちょうど空中の水たまりがきれいな虹に見えるような、このうろこが光を色々な色にするのです。このうろこはとても小さいので皆さんはこれを見るのにけんびきょうを使わないと見えません。それでちょうちょの学名は「レピドプテラ」というのです。これは「うろこの羽をしたもの」という意味です。

ボーアンの れんが

さし絵

チャールズ・ニッカーソン



「ぼくはすばらしい家をたてるんだ」とボーアンはジーヤとオービルにほらを吹いた。「大きなへやを二つ作るんだ。一つはお母さんと妹とぼくのため、もう一つは動物を入れる所にするんだ。」

「君は家をたてることについてどれくらい知ってるんだ。君はずっとテントに住んでいた羊飼いの少年だったじゃないか」とジーヤが言った。

「家をたてることなんて何でもないことさ。」ボーアンはそう言いながら、彼らに手をふった。「どろをれんがにたくさん入れればいいのさ。だれでもそれくらいのことできるよ。」

ジーヤがオービルを見ると、オービルは肩をすくめて見せた。何でも知っているように見えたので何も言うことがなかった。

ボーアンはパレスチナの小さな村に住むようになってから、まだほんの少ししかたっていないかった。彼とお母さ

ん、そして二人の妹は、羊飼いだっただけだ。お父さんが死んでから、村のはずれにテントをはってすんでいた。ボーアンは一番年上でただ一人の息子であったので、今家族の長となっていた。彼の新しい地位は彼を思いあがらせたようであった。ボーアンはどこへ行っても、自分のしようとしていることをじまんして歩いていた。

「ボーアンがあんなにほらふきでなければぼくは彼がもっと好きになるのだけだな。」オービルはジーヤに言った。ジーヤはうなずいた。「ボーアンはすごいんだよ。彼が話すのを聞いていると、彼は何でも知っているみたいだ。そしてあたかも彼の家族が動物の大群をかっているような口ぶりなんだ。」オービルは笑った。「そうも。1びきの年とったヤギとその子ヤギだけの大群さ。」

「それにボーアンがうえたちっぽけなブドウの木が大きくなると思っているんだからな。」とジーヤが言った。

二人の少年は笑った。ボーアンは家をたてることについても、ブドウの木をそだてることについても、たくさん学ばなければならないことがあった。ボーアンがまちがいをして、べっしょんこになるのを見るのが楽しみであった。ジーヤとオービルは長く待つ必要はなかった。2、3日後、二人はボーアンと彼の家族が住んでいるテントの前を通った。ボーアンはそこでれんがを作っていた。

「見てみる」ボーアンはほこらしげに言った。「ぼくはれんがをもう山の

ように作ったぞ。もうすぐ家のかべをつみあげるんだ。」

ジーヤとオービルはボーアンが働いているのをしばらく見ていた。そして二人は家へ帰った。

ジーヤはこうたずねた。「オービル君はボーアンがれんがをどのように作っていたか見たかい。」

オービルはうなずいた。「一本もわらが入っていなかった。雨がふり出したられんがはばらばらになるよ。ボーアンは大きなどろの山の中にすわることになるんだ。」「じゃ、わらを入れるとれんががしっかりすることを知らせてやろうか」ジーヤはたずねた。

オービルは頭をよこにふった。「ボーアンは何でも知っているつもりだ。つらいめをしてわかるようにしてやれ。」

ジーヤはさんせいした。ボーアンのがっかりした顔を見るのを楽しみにしていた。

しばらくしてジーヤが家に帰るとジーヤの母が言った。「私は今日ボーアンのお母さんと話をしてきました。彼女は二人の娘さんと、ボーアンがたっている家の床にしく、きれいなしきものをあんでいました。お母さんはとても自分の息子をほこりに思っていました。」

ジーヤは何か悪いことをしているような気持ちになった。彼はボーアンの母と妹たちのことを忘れていた。ボーアンの家がくずれたら、彼らもひがいをうけるのである。ボーアンに知らせるべきだろうか。いや、それはできなかった。オービルがそうしたがらないだ

当 教会の全てのステーク部、伝道部の扶助協会の女性は、この9月に、デビッド・O・マッケイ大管長に私たちの愛と感謝の意を表します。過去長年にわたって、マッケイ大管長の勧告を受けて、私たち姉妹は、家庭で、扶助協会の組織で、霊的な面、文化的な面から祝福を受けてきました。大管長の慰め、励まし、そして靈感の言葉は、全世界の姉妹を導く光となってきました。扶助協会の女性たちは、予言者、聖見者、啓示を受ける者である大管長がこの95回目の誕生日を迎えられて、この末日に予言者を与えられて天の父なる神に感謝している教会の会員が、あなたに感謝し、愛を感じていることをおわかりくださるよう希望し、祈っております。

全世界の扶助協会の会員が、再び信仰、知恵、永遠の真理の言葉を味わうことができるよう、ここにマッケイ大管長から姉妹たちへの勧めを抜粋して載せました。

母であること

世界で最も貴い召しは、母になることの召しである。本当の母となることは、あらゆる芸術の中でも最も美しい芸術であり、あらゆる仕事の中でも最も偉大な仕事である。絵画で傑作を描くことのできる婦人や、数百万の人々に影響を与える本を書くことのできる婦人は人類の喝采と賞賛を受けるであろう。しかし、健康で素晴らしい息子、娘を立派に育て、彼らの不滅の霊が、絵が色あせ、本や像が減んだ後も、幾世にもわたって人々に影響を及ぼすようにした婦人は、人が与えることのできる最高の荣誉を受けるに値する。

幼い子供の純白の心に最初に記されるものは、母親の概念である。最初に安全の感覚を目覚めさせるのは、母の愛撫である。最初に愛情を覚えさせるものは母親の接吻である。この世には愛があることを最初に確信させるものは母親の同情であり、優しい心である。……子供時代の最初の数年間に植えつけられた影響は、永続性と拘束力があり、香りが、しおれてゆくバラから離れないように、生涯を通じて子供から容易に去らず、思想や記憶に浸透している。

母親の鋭敏な、優しい影響力が人類の進歩と行く末に非常に力強い役割を果たしているがゆえに、母親は美、慎しみ、同情、快活、敬虔、そして他の数多くの崇高な徳を備えていなければならない。

家庭

一致、互の助け合い、そして愛のある家庭は、ちょうど地上における天国になぞらえることができる。私は少年の頃から家庭で一度も父と母の間に不一致が見られなかったという記憶を、感謝しつつ大切にしており、そして謙遜になることができている。調和、善意一致、相互の理解などの徳が全ての家庭にはぐくまなければならない。

訓戒よりも模範の方が力強い。両親は、子供たちが礼儀、誠実、節度、いつでも美しいことを行う勇気をおこすためには、こうなって欲しいという状態に自らがまず達する義務がある。家庭を築くことは一つの芸術である。最初人は家庭を築くことにに関して芸術という言葉を使うことに反対するかも知れない。しかし美しい家庭を築くのに知識と技術を応用することは、最高の達成事業である。

家庭を築く芸術という言葉により、私は子供の生活に、直観的に美しいもの、純粋なもの、徳高きものを選び、直観的に醜いもの、偽りのもの、不道德なものから遠ざかるように導く、霊の気高さを教え諭すことを言っているのである。

家庭を築く芸術には、父と母という二人の芸術家の仕事と技術があらわれていなくてはならない。もし二人が交叉する目的をもって働くなら、彼らの努力はしばしば失敗する。もし二人が、彼らの生きた創造物に毎日働きかける際、互いに相手の必要とするものを満たしながら、調和をもって働くなら、結果は人類にとって暗い影や呪いとなることなく、誉れある少年少女となって現われよう。

個人の徳

感謝するということは大きな徳である。もし夫と妻が家庭でもっと頻繁に感謝の言葉を口にすれば、妻はもっと幸せになるだろうし、夫はおそらくもっと優しくなるだろう。子供をしつけるに当ってその克己。子供は、家族の他の人に影響を与えるから、行動に制限なく走りまわるままにされておくべきではなく、正しく指導し、しつけなければならないと私は思う。これは子供に残酷でありなさいと言っているようにとれるだろうか。そうではない。そうなる必要はないが、「いけない」と言う時には、いけないことを本当にやらせるように言うことが必要なのである。

1968年9月8日



マ ッ ケ イ
大 管 長 の
誕 生 日 を
祝 して

(ルエリン・R・マッケイ編 デビッド・O・マッケイ著「幸福な生活の秘訣」及び「幸福の道」からの抜粋)



MIAとガールズ・プログラム

もし統計の数値が心臓の鼓動を打ち、まばたく眼を持ち美しい髪と顔を持つことがあるとするなら、それはガールズ・プログラムの中にある。21年前、少年のためのアロン神権プログラムに比較できる少女のためのプログラムが、教会の管理監督会で準備された。大管長会は、ステーキ部、ワード部、支部のYWMIAに教会のガールズ・プログラムを管理するよう責任を割り当てた。

このプログラムが存在する主な理由は、少女たちが皆教会のどこにいるかわかり、各少女の活動と出席の記録をつけ、また全ての教会の集会と活動に首尾一貫して参加している少女たちを知るためである。そしてまた、愛のある思いやりの精神で、教会に不熱心な少女たちを助けるためである。

少女が12才になって、MIA年度の初めに始めてMIAの集会に出席すれば、この少女の名前はガールズ・プログラムに登録される。この少女の情報——両親、誕生日そして彼女の才能——を全て記入した黄色のカードが作成される。その少女の6年間を通じて、毎週彼女の出席した集会の数、奉仕の時間、話をした回数、そして彼女の受けた賞の記録がつけられる。

もし少女が一つの町、県あるいは国からよそへ移れば、その黄色のカードは彼女がどこへ行っても彼女について移動する。このカードは最新の期日まで記録がつけられ、失われることなく転送される。このカードは、統計上の数値もそうであるが、ある意味で、「生きた」ものになるのである。

非会員の少女も望むならこのプログラムに参加することができる。彼らも個人賞に要求された同じ項目を満たすことができる。

時々小さな村から大きな町に少女が移ることがある。もし彼女が自分を取り巻く環境と人々に十分順応できなかったら、彼女は寂しく感じて、MIAに参加していこうという気

が挫けるかも知れない。しかしガールズ・プログラムは、関心を持ち愛のあるYWMIAの教師や役員を通じて、これらの少女を助け、慣れるようにし、前の環境に引き続いて彼らの活動を続けていくようにする。ワード部あるいは支部書記からそのステーキ部あるいは地方部のガールズ・プログラムの書記にすぐこの「黄色のカード」が送られ、そこから新しい地域のステーキ部あるいは地方部の指導者へ送られるので、彼らは新しいワード部、あるいは支部で腕を拡げて歓迎されるのである。このようにして一人の少女も「失われる」ことはないのである。

少女たちは年に少なくとも10時間、慈善の奉仕をする。彼女は、報酬を受けずに非利己的に喜んで他人のために奉仕する活動に参加して、この奉仕を達成する。彼女は奉仕する喜びのために、そして社会の一員として奉仕することが少女に期待されることなので、奉仕活動を実践するのである。ただし、奉仕計画による経験は、家族の間で行う日常のもの以外のものでなければならない。他の人に奉仕する有意義な計画に参加した経験のある少女は、いつもその事を非常に幸福な経験として記憶するであろう。

もし少女が一年間に日曜学校、MIA、聖餐式に少なくとも36回出席し、奉仕計画に十分参加し、また教会の集会で話をし、MIA活動に参加し、清い生活を保ち、更に什分の一を守り、知恵の言葉を守っていれば、各MIA年度の終りに「個人賞」の証書が与えられる。一回個人賞を受けると、その後の賞には、獲得された賞の回数の入ったシールが貼り付けられる。少女は毎年個人賞を受けることができる。七回個人賞を受けた人は、ガールズ・プログラム七年賞として美しい金製または銀製の大メダルが与えられる。

全ての少女は特別な少女である。……自分自身にとって、両親にとって、教会の指導者、天父なる神にとって大切な存在である。

全ての少女は自分が真実の行末を身に受けた最も貴重な存在であることを覚えるように、特別な考慮が払われ、理解されなければならない。YWMIA指導者は、皆各少女に考慮を払い、その少女が必要としていること、彼女の抱負を理解してあげ、個人的に注意してあげなければならない。ガールズ・プログラムはMIAビーハイブ、MIAメイド、そしてローレルのクラスを通じて促進される。少女たちはYWMIA指導者の助けと忠告を求める。指導者はこの時、自分の生涯の中で少女たちの指導者として神聖なそして大切な責任を引き受けているのである。指導者は少女たちとの個人的な親しい間柄を通して、少女たち一人一人の必要に答えるよう努力し、少女たちが福音に対する強い証を育て、幸福な生活が送れるように助けるのである。

監督や支部長は任命されるとすぐ、ガールズ・プログラムについて詳しく説明したガールズ・プログラム案内を渡される。

※個人記録カード(黄色)ナンバーcc-065

日 曜 学 校

決 心 と

実 際 の 間

に あ る 淵

リランド H. モンソン

と言えるだろう。そして私たちは皆その通りであると知っている。生徒たちは多くの場合、私たちが話した原則を実践しようと固い決心をして教室を出る。しかし問題はこの決心をした生徒のどれだけが実際にその通り行かうかである。何人の生徒の生活が本当に変えられたであろうか。私たちは教師として、良い決心を実際に行なう方法を教えなければならない。

直接行動の法則

私たち教師は、生徒に決心させるだけであってはならない。私たちは意識の中にソーンダイクの「直接行動の法則」を焼きつけなければならない。生徒が学んだ事柄を活用するよう、私たちの意図に添って学ぶように、十分注意する必要がある。私たちがスカウトに教えているのは、このような方法によっている。私たちが日曜学校で教えるのも、このようではなければならない。

人はアルファベットをAからZまで覚えて、その通り速く復唱することができる。これをZからAまで言って見なさい。ずっと長い時間がかかることがわかるだろう。私たちは習ったように、ものを用いる傾向がある。もし生徒が教室で基本的な原則を話し合うことによって福音を学ぶなら、おそらく生徒は福音をよく論じる者となるだろう。一方もし生徒がその一週間福音の原則を実践することによって福音を学ぶなら、生徒は福音をよく実践する者となるだろう。そしてこれが私たちの望んでいることである。生活の中でキリスト教の原則を実践する必要がある。

「そして、御言を行う人になりなさい。……ただ聞くだけの者となってはいけない。おおよそ御言を聞くだけで行わない人は、ちょうど、自分の生れつきの顔を鏡に映して見る人のようなのである。彼は自分を映して見てそこから立ち去ると、そのとたんに、自分の姿がどんなであったかを忘れてしまう。

これに反して、完全な自由の律法を一心に見つめてたゆまない人は、聞いて忘れてしまうのではなくて、実際に行う人である。こういう人は、その行いによって祝福される。」

(ヤコブ1:22~25)

心 理学者ソーンダイクは彼の「直接行動の法則」を論ずるに当って、私たちは自分が学んだように自分の知識を使い勝ちであると言っている。私たちはスカウトたちに毎日親切をほどこすことを通して、奉仕の原則を賢明に教えている。私たちはもし福音を単に教室の中で話すことによってのみ教えようとするなら、私たちは最終的に福音の原則を反復し話すことのできる青年男女を得るだけにとどまることを覚悟しなければならない。そしてこれは私たちの現状である。

しかし私たちは教室で福音の原則について話して彼らを教える時、日常生活でその原則を実践するよう決心させている

人の生活を福音の原則に添って変えるのに役立つ一つの方法は、各レッスンに「学習の目標」を設けることである。学習の目標とは、その週に生徒が自分の生活の中で、原則を生かすためにすることのできる何かのことである。

数年前私はエール大学のエルネスト・リゴン博士が、学習の目標を使った例を示すために教えた一つのクラスを見学する機会があった。博士は8人の若い男女に「良きサマリア人」のレッスンを教えていた。生徒たちの年齢は17歳と18歳であった。

博士は生徒にこの物語の意味がよくわかるように、10分間費した。残りの35分間で博士はこの原則を実行するよう一人一人の生徒に割り当てをしていた。博士は最初ジョンに向かってこう尋ねた。「ジョン、今週君はどのようにすればよきサマリア人になれるかね？」ジョンは答えて言った。「僕はバスケットボールが大好きです。僕はコーチをととても尊敬しています。でも僕と同じくらいバスケットの好きな友達は、コーチとうまくやっていけません。僕は友達とコーチの間の問題を解決してよいサマリア人になりたいのです。」そこでリゴン博士はポケットから 10cm×15cm のカードを取り出して、ジョンの両親に彼らの息子が友達とコーチの問題を解決するのを手伝ってやって欲しいと注意書きをした。この注意書きをしたのはリゴン博士によれば、25年間性格の発展を観察してきた結果、日曜学校で教えるだけでは、評価し得る発展が観察されなかったからだと言う。家庭と日曜学校が協力

して始めて性格の大きな成長と発達がなされるのである。

リゴン博士はクラスの生徒一人一人と話し合った。生徒は日曜学校のクラスを出た時、一人一人皆その週の間、よいサマリア人になる経験をしようとする自分の計画を持っていた。もし生徒が福音をよりよい生活の指針とするように期待したいなら、私たちは生徒が実践することによって真理を学ぶようにしなければならない。教師の側のこのような働きは、私たちの教えを、良い意図だけの「危い領域」から実践の「立派な領域」に移してくれる。

実践することを学びとる

私たちは自分が実践することを学ぶものである。私たちは実践することによって、福音の原則の証詞を得る。イエスは私たちに生活の中で実践することによって真理を発見するように強く勧めている。イエスは宮にのぼって教えて言われた。「神のみこころを行おうと思う者であれば、だれでも、わたしの語っているこの教えが神からのものか、それとも、わたし自身から出たものか、わかるであろう」(ヨハネ7:17) 私に過ちを犯した者を許すのが賢いかどうか知ろうと思えば、私は喜んで実験をしなければならない。私に過ちを犯した者を許すことによって、私は赦しの原則を学ぶことができる。人を赦せるほど謙遜になることができた時、その個人に来る平和を自ら発見することができる。私たちは実践したことを習得するのです。ドロシー・ローはこのように書いている。

子供は批判を周りに聞いて大きくなると、非難することを

聖餐会の前奏曲



覚える。

子供は敵意に囲まれて大きくなると、戦うことを覚える。

子供は恐怖を周りに見て大きくなると、案じやすい者となる。

子供はあわれみを周りに見て大きくなると、自分が可哀そうに感じるようになる。

子供はあざけられて大きくなると、恥ずかしがるようになる。

子供はねたまれて大きくなると、自分に罪があると感じるようになる。

子供は寛大に扱われて大きくなると、忍耐強くなる。

子供は励まされて大きくなると、自信を持つようになる。

子供は賞められて大きくなると、感謝することを覚える。

子供は受け入れられて大きくなると、愛することを覚える。

子供は認められて大きくなると、自分を好くようになる。

子供は表彰されることがあると、目標を持つことが良いことを悟る。

子供は正直な人に囲まれて育つと、真理とは何か知るようになる。

子供は公平に扱われて大きくなると、正義を知るようになる。

子供は安全な環境で育つと、自分自身と周囲の人を信頼するようになる。

子供は仲良く接する人々に囲まれて大きくなると、この世界

が素晴らしい所であると知るようになる。

私たちは実践したいことを習得するのであると、確信をもって言うことができる。私たちはイエスが山上の垂訓で言われた3つの段階を踏むことによって、敵を愛することを学ぶのである。私たちは什分の一を払うことによって、実際にも感覚の上でも什分の一について学ぶのである。私たちは丁度泳ぐことによって水泳を、プレーすることによってバスケットボールを覚えるように、謙遜になることによって謙遜を学ぶのである。

福音の原則を活動的にしなさい

人は実践したことを習得するということを頭において、教師は日曜学校のクラスで教える時、彼の教える原則が生徒のその後の一週間の生活に直ぐ現わせるものにしなければならない。教師は45分のクラスを司会することだけで義務を遂行することはできない。教師は生徒が生活の中に福音の原則を活用するのを助けていなければならない。

教師が抽象的な道徳の原則を生きた状況に転じた時はいつも、学習が促進されることを私たちは知っている。私たちは実践したことを習得するのである。

9 月 の 聖 句

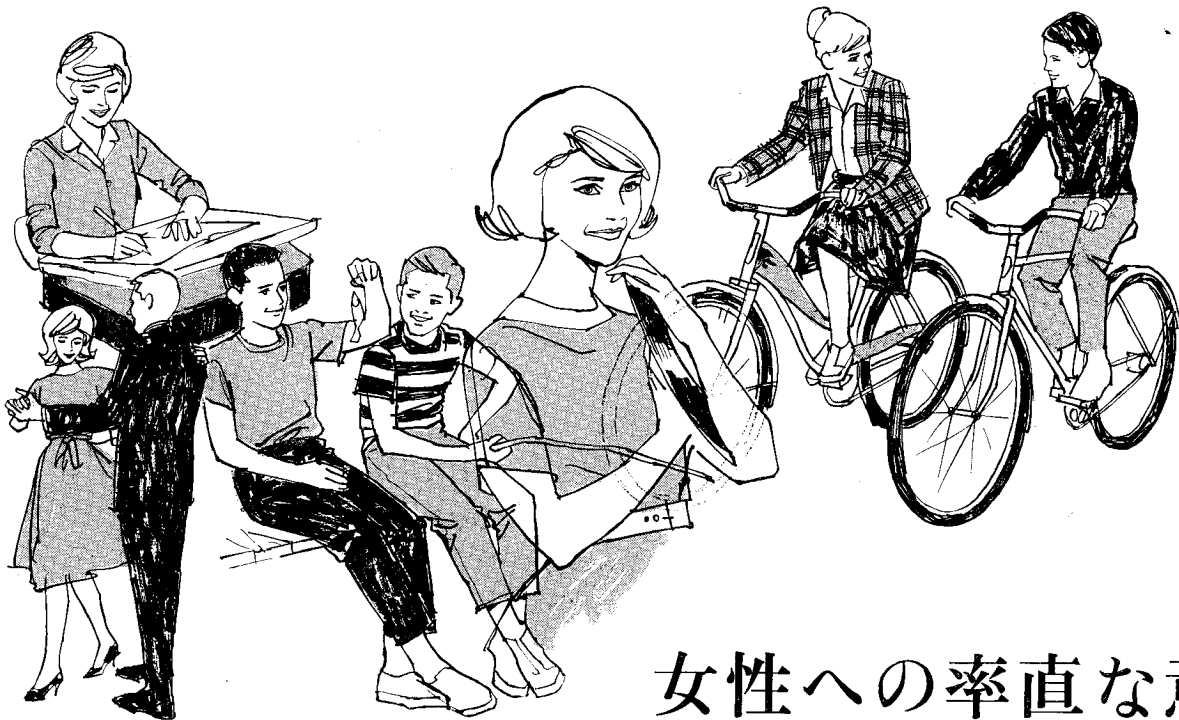
大人日曜学校

イエスは言われた「心をつくし、精神をつくし、思いをつくして、主なるあなたの神を愛せよ」(マタイ22:37)

子供日曜学校

「なぜならば、よいものはみな神から出るからである」

(アルマ5:40)



女性への率直な意見

管理監督会 ロバート L. シンプソン

最 近の、ある夕べのこと、高校生の年代の少女を教えている信仰の強い素晴らしいMIAの教師は、よく準備したレッスンを始めようとしたが、急にその正規のレッスンをやめて、不道徳のもたらす悲劇について話すよう「みたま」に導かれました。レッスンは中ばに達した時、教会の駐車場からいらした自動車の警笛が聞えてきました。ついに警笛は止んで、若い男性の乗った自動車は出ていきました。このクラスの靈感に導かれたレッスンは終わると、一人の涙ぐんだしかし感謝の念に満ちた女性が他の人々の帰るのを待って、指導者に「あの警笛は私を呼んでいたのです」と打ち明けました。そしてその女性はこう言いました。「私は今晚を最大の夜にしようと決めていました。そしてあの警笛は準備が全部揃ったから彼は待っているという合図でした。あなたが言われた事とあなたが話された態度で、私は人生で最も重大な過ちから救われました。私は今晚の事を決して忘れません。」

丁度6年半前、ブラウン副監督と私は、マッケイ大管長が新しい管理監督に、非常に大切なチャレンジを述べられるのを、一心に聞いておりました。中でもバンデンバーグ監督の主な責任は、数千の全世界の若い男性に対するものであるとの指示を受けました。それから非常に明白な指示が、生きた予言者の口から聞かれました。彼はこう言いました。「監督、あなたは同じ年代の女性にも、同じ位大きな関心を持たなければなりません。」

6年半前の断固としたしかし優しい指示の精神をもって、私は若い女性の皆さん——目に星の輝きを、心に大いなる希望を持ち、しかしあまりにも多くの場合、目まぐるしく動き、気短かで変転して止まない社会の中であって、心を定めることがむづかしい若い女性の皆さん、今日話を聞いている皆さんに率直にお話しすることにしました。私は心に熱い祈りをもって、また皆さんが若い女性が心を柔らげて皆さんの希望、夢、抱負の世界に私の訓戒を入れて考えて下さるように、そして私を友として、皆さんの幸福、福祉に深く関心を寄せている者として受け入れて下さるよう祈りながら、私の

主題に入っていきたいと思います。普通の若い女性はみな優しい事柄、愛の事柄、霊の事柄——そうです、将来お母さんになること、忠実なそして永遠にわたるつれあいとの生活 それに優しく愛ある天の御父の娘にだけ与えられる神聖な委任についての霊的な考えについてまた心に溢れる永遠のしかし捕え難い希望を成就させることについて、関心を寄せています。もちろん私もそうです。あなたがたはあまり遠くない昔、天父なる神の御前を去る時に、この委任を個人的に神から受けたのです。

前に私は一人の女の子がこう言うのを聞きました。「私は何なのでしょう。私は何の役に立つのでしょうか。」さて、一つの重要な点は、あなたが最終的な祝福を受けるにふさわしいかどうか試すため、天の父なる神から割り当てられてこの地上にいるということです。聖典の言葉によれば「これによりて彼らを試し、何にてもあれ、主なる彼らの神の命じたまわんすべてのことを彼らが為すや否やを見ん。」この聖句の中で天の父なる神は、この地上に来るため、試験に通らなければならないことについて言っておられます。あなたがたはこの試験に通ったのです。あなたがたは既にひいでの能力を示したのです。続いてこの生涯に私たちが成す働きについて、主は従順であることを証明した人は全て「とこしえに栄光をその頭に付け加えられん」(アブラハム3:25~26)と素晴らしい約束をしておられます。

神の家は秩序の家です。そしてあなたはその秩序と計画の一部として、個人的なそして直接の委任によってここにいるのです。あなたは神の形にかたどって創造されたということが大切です。「……神は自分のかたちに人を創造された。すなわち、神のかたちに創造し、男と女とに創造された。」(創1:27) あなたはこの簡単な真理を知って、理解していることは何と幸いなることでしょうか。この世で比較的わずかな人しかこのことを受け入れていません。あなたが神の一部であること、個人的に神があなたの霊の父であること、あなたの内には神から授かった力があることを知って、あなたの考

え、行いは全て高い水準になければなりません。この神から授かった力によって理論的に思考する力、考える力、管理し永遠の光栄を得る力が得られます。しかしこれは神の条件、神の正義の条件に合っただけなのです。

「私は何なのでしょう。私は何の役に立つのでしょうか。」とんでもありません。あなたやあなたのような若い女性がいなければ生命は終りをつげ、神の大きな計画の基が挫かれます。

若い女性の中に、創造の潜在力、以前に神に創造された霊に地上の体を与える力があるということを知って、感激しない女性があるのでしょうか。死すべき人は誰もこれ以上に大きな栄誉を持つことはできません。あなたは生命を永続させる過程において、天父なる神と協力することになるのです。この考えは非常に大きな力を持っています。神と協力する決心をしようとするならば、あなたにある最善のものを活用しなければならなくなります。あらかじめ考え、計画しなければなりません。決して衝動によってしてはいけません。この神聖な過程を踏むには、ふさわしい人でなくてはなりません。

ごく最近私たちの家族は新しいラジオを買いました。私たちは皆早くつけてみたかったのですが、家族の一人がラジオについていた説明書に太い字でこう書いてあるのを見て、皆の注意を促しました。「ラジオをつける前にこの説明書の注意をよく読んでください。」私たちはまず間違った電源にさし込むと、多額の損害を受けるということを知りました。うまく操作して長く使用し、このラジオを楽しむため大切なことが他にも幾つかあることがわかりました。

あなたの生活にとって大切な教えが、長年にわたる歴代の予言者によって与えられています。もし幸福と成功を望まれるなら、これらの教えを理解し、実践しなければなりません。人の命は1万5千円のラジオより値うちのないものなのでしょうか。ゲームをしようと思えば規則を知らなければなりません。もしあなたが特定の祝福を望むなら、あなたはその祝福の基づく律法に喜んで従わなければなりません。(教義と聖約 130:20~21参照)

私たちが暗闇の中を模索して時を過すようには決して意図されていません。予言者はこれまでに出版された中で、最も優れた訓戒の手引書を私たちにくださったのです。聖典の中に私たちは道しるべを、人生の規則を、またあらゆる問題の答えを見つけることができます。次のように記されています。「示現がなければ民は滅びる。」(箴言29:18訳英文通り)

若い女性の皆さん、あなたがたの示現はどうですか。示現は知識なくして受けられますか。ゲームの規則を知らないで、うまくゲームができ、規則に従ってあなたの能力を最大限に生かせると期待できますか。皆さんについて神がどうお考えであるかお教えしましょう。もしあなたがいつの日か神の霊の子供たちに、肉体を与えるという神聖な義務を負うとするなら、あなたの個人的な健康上の習慣はできる限り完全でなければならない、と私は思います。アルコール飲料とタバコは主から禁じられています。タナー副管長はこのことを非常に明らかにされました。

私たちは皆適切な食物を食べ、十分休息をとり、力一杯働かなければなりません。ただ社交上受け入れられるだけのために、良い健康と健全な心に有害なこれらのものを食し、その間神の協力者として健康な体を備える義務に背を向ける、というのは私の考え方によれば、言いわけのたまたまなことです。

このことがどれ程大切であるか一つの短い例をあげますから、一緒に考えてみましょう。若い女性の皆さん、早産の内、死産の率は

喫煙していた婦人の間では、普通の人の4倍だという、最近の調査結果をご存知ですか。そうです、女性の皆さん——4倍なのです。神がこう言われたのも当然です。「あなたがたは神の宮であって、神の御霊が自分のうちに宿っていることを知らないのか。」

もし人が、神の宮を破壊するなら、神はその人を滅ぼすであろう。なぜなら、神の宮は聖なるものであり、そして、あなたがたはその宮なのだからである。」(コリント前3:16~17) 事実神の勧めを無視して私たち自身を滅すのは私たちなのです。

「ただ、主にあっては、男なしには女はないし、女なしには男はない。」(コリント前11:11) このように神は昇栄の機会を均しくされたのです。これは丁度 $2 + 2 = 4$ と同じように真実なのです。永遠の真理です。これは変えることはありません。

皆が新しい道徳について話しています。神の道徳の規則から離れるものは、どれも神の目に受け入れられません。神はきのうも、きょうも、とこしえまで変りません。私たちの幸福のための神の御計画も同様に変わることがありません。この前提の下では、人をだます人間に主唱された新しい不道徳はあるかも知れませんが、新しい道徳というものはあり得ません。ただ敵だけが、無知で誤って導かれた人、それから疑わしい仲間とつき合う危険を犯す人をいつもわなにかけてようと、たえずたくらみを企てているのです。

気高い心を持って生まれた若い皆さん、あらゆる偽りの父——あなたがたの墮落を最大の勝利と考えているあの偽る者に敗れてはいけません。がまんできないようではいけません。忍耐について言えば、つい去年のこと、南カリフォルニアの一人の信仰の篤い女性に次のような困った問題がありました。ジムはすぐにもヴェトナムへ出かけるころでした。彼は出かける前に結婚しようと強く押しましたが、彼女が夢見ていた型の結婚ができるようにするためには、ある特別な問題を克服しなければならませんでした。彼女は彼を愛しており、結婚したかったのですが、彼女の素晴らしい両親は、本当に知るために3カ月の交際も最低どうしても必要で、不十分な位だと譲りませんでした。ついに待つことに決まりました。

彼がヴェトナムにいたその後の12カ月間に、彼らが交わした文通は非常に立派なものでした。彼らの愛は成長しました。デイトをしていた時の軽い内容の会話には見られなかった事柄を、手紙で話し合う力を二人は知りました。今彼は帰っています。私は彼らの互の愛が主の家で結び固められ、今年の末までに彼らの最初の子供が生まれ、また一つの素晴らしい家族単位が昇栄と永遠の生命へ向って立派に進んで行くことをお知らせできるのをうれしく思います。

若い女性の皆さん、「この一回だけ」とか「皆しているから」と言う女性に幻滅の大道がたくさん待っています。このような言葉に覚えがありますか。また別のよく聞くなはこのようなものです。「もし君が愛しているのなら、する筈だ。」ただ口で愛をよそおい、実は単に短い時間の利己的な肉欲と動物的な満足を満たすためにあなたを利用しようとしている、口のうまい者のために、全ての良いもの、真実なもの、神聖なもの、それは愛する者と教会の指導者の信頼、そしてあなたのよい名前と個人の尊厳を含めて、全てを棄ててしまう皮肉を想像してみてください。若い女性の皆さん、素晴らしい状態でいてください。もしこれまでに間違いがありましたら、正してください。その決心は今からする決心の中でも最善のものとなるでしょう。主はすぐにも手伝ってくださいと待っておられます。主はこう言われています。「見よ、わたしは戸の外に立って、たたいていて。だれでもわたしの声を聞いて戸をあけるなら、わた

しはそこにはいって彼と食を共にし、彼もまたわたしと食を共にするであろう。」(黙示3:20)

しかしあなたがまず行動しなければならないことを覚えてください。戸を開けなければならないのはあなたです。主はそこにおられるでしょう。そしてひょっとしたら、準備していたレッスンを変えるよう促された信仰の篤い教師の姿をとっているかも知れません。そして彼に答えて次のように言うのは、あなたであるかも知れません。「ありがとう。あなたが言われた事とあなたが話された態度で、私は人生で最も重大な過ちから救われました。私は今晚の事を決して忘れません。」

皆で話し合おう 義務と責任 医学博士 リンゼイ R. カーティス

「私はいつか教会に戻るかも知れません。しかし今は教会に行くよう迫る圧力からも、行く義務からも解放されて、非常に嬉しいから、しばらく自由を味わおうと思っています。」こう言っているのは体重86キロのハンサムな、人に好かれるグレンであった。

大学を卒業した23歳のグレンは、元気で可愛いローリと結婚したばかりで、発展しつつある商社に最近勤務するようになったところである。「何年も私は、お父さんの教会の地位のために、教会に出席し、いろいろな教会の割り当てを引き受け、また什分の一を払いたくさんの事をするように圧力を受けてきました。今私は自分でやっていますから、教会と教会の責任から休みが欲しいのです。もし私が行けるようになりましたら、私は戻ります。」

グレンは解放されたような大きなため息をついて椅子にもたれてすわった。彼にとっては、長い間いやいやながら負ってきた大きな荷物をおろしたように思えたのであった。

しかし、私はグレンと彼の家族を長年知っていた。グレンが説明なしに言った言葉を受け入れることはできない程、長年知っているのである。「グレン、それはおかしいよ。」私は言った。

「私には君のお父さんが、棍棒を持って君の上に立っていて、教会に行かせる人のように見えなかったけれどもね。」

「もちろん、父は棍棒を持って私の上に立っていた訳ではありません。」「彼は一度でも君を無理に教会に行かせた事があるかね。」

「それはなかったと思います。しかし私たちは教会に行くように期待されていました。」

「行くように期待されていたとは、どういう意味だね。」

「私たちの家にあったのはただそれだけでした。皆が教会へ行きました。そして実際集会があると、私たちの家族は必ずそこにいるものと見なされていました。私はもう十分行ったから教会に行かなくてよいと思っています。」

「君は教会へ行って楽しくはなかったのかい。」

「もちろん楽しかったと思います。しかし私はいつも行かなければならないのが嫌だったのだと思います。」

「それごらんさない、行かなければならないと言いながら、本当にそのつもりではなかったのでしょうか。」

「私の言おうとすることがわかるでしょう。少くとも今私は独立していて、教会へ行く義務も、他の何をする義務も感じないのです。」「グレン、あなたのお父さんはなぜ教会に行き、ワード部の監督としてあのように時間を使っていると思いますか。」

「父は義務づけられている感じを受けなかったのでしょうか。」

「誰から義務づけられていると。」

皆さん、素晴らしい女性を神は愛しておられます。あなたは神を引き下げてはいけません。あなたには神を協力者として達成すべき特別な働きがあります。その特権に適わしくあってください。若い女性の皆さん、私は最後にこの事を申し上げたいのです。神権は信仰の篤い女性の伴侶がいなくては、最終の目的を達成することができません。どの女性にも家庭の長に適わしい神権者の伴侶がいなければ、最終的な目的を達成できません。この事があなたの変らない目標となりますように、主イエス・キリストのみ名によってお祈ります。アーメン。

「ステーキ部長からだと思います。」

「もう一度考えてごらん。」「はい——主からです。」

「それでは君は、結婚して自分の家庭を築き始めて、そして両親の下から離れて住むようになって、急に主から課せられた義務が全部解かれたと思うのですか。この義務という言葉と責任という言葉に置き換えたらどうだろうか。私たちの責任が急に解かれるような状況の変化というものがあるのだろうか。」

グレン、君も知っているように、私たちは小さい時、両親は時々私たちの責任を自覚させるために小さな圧力を使わなければならない時、時には平手を使ったり、小さな柳のむちを使わなければならないませんでした。しなければならない仕事、従わなければならないある規則、私たちの行動のための教訓などがあります。私たちが大きくなるにつれて、私たちはこれらの規則が必要なことと私たちが従順でなければならないことがわかりますから、圧力はもう必要でないと思ふようになるのです。法律を破る者にとって警察官は、悩みの原因、何か恐いものとして受けとられます。しかし法律を守る者にとっては、保護者として、友人として、また私たちを見守ってくれる人として受けとられます。

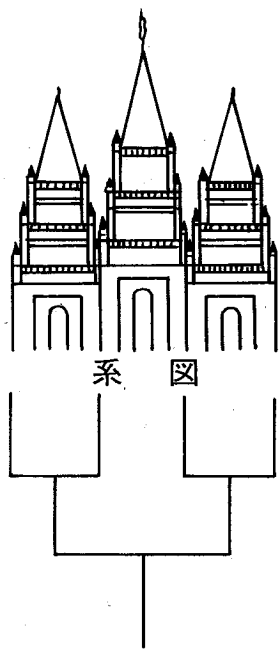
「あなたはお父さんが正しい原則を教えてくれたことや、行くべき道を示してくれたことに対して、しかも強制によらなかったのに、反対しようとしているのですか。あなたはそれとも悪い見本を見せてくれた方がよかったと言っているのですか。」

「いいえ、あなたは本当にものごとを裏返しにする人ですね。」

グレンは不愉快に椅子の中で身をねじった。

「そうですか。私は実際これらの事の幾らかでもまっすぐにしようと思んでいたのです。考えてごらんさない。あなたのお父さんはあなたが自分の家庭を築き始めたから、現在あなたに関与しようとしていないのですよ。しかしあなたは決して天の父なる神の権限から逃れることはできないのです。もしあなたが神に対するあなたの責任を無視できて、尚そのことについてかまわないなら、それもいいでしょう。しかし君が平気でおれるとは思えないね。事実神の影響を逃れることのできる場所は地球上にありません。また天においても逃れる場所はないことがわかります。」

グレンは考え込んでいるように見えたので私は待った。すぐ彼は言った。「私は全てを父にかぶせていたようでした。私は父が本当に好きです。そして私は彼の模範に感謝しています。私はいつも父が誇りだったし、父の主に対する献身も誇りでした。あなたが言ったことは全部その通りです。日曜日私はきっと自分がしていなければならないと知っていた通りにしましょう。」



世界系図 セミナー

世界中を通じて系図の活動がさかんになっているように見受けられる。系図、歴史、あるいは記録の保存に関する新しい組織が毎日この地上のどこかに誕生している。全地の人口は、過去の人々が誰であり、どこから来たか知ろうとして、この大切な仕事に注意を向けており、過去の物語をひも解いてゆくことに喜びを感じている。

全世界を通じて、私たちの祖先についての研究、その生活、その家族、そしてその経験について探究することほど、魅力的な研究はない。たくさんの人々が、この研究に興味を持ちそして熱心に取り組む時、記録を集め、保存する組織は増えている。この新しい情報の貯えがあるお蔭で、人々は数年前にはなかった、また人々はないと思っていた記録を見つけている。古い記録はその数がふえるにつれて、保存に必要な事がらが増えますこと細かになってくる。

数年前は系図協会に系図を探したいと希望して来る訪問者は、わずかな人数であったが、今日探求を助けて欲しいと来る人は、直接来る人、手紙で依頼して来る人、合わせて数百人にも達している。全世界を通じてこの同じ精神が人々の心を抱えており、エライジャの霊が彼らの心に働いているのである。

私たちはこの活動が世界的規模で行なわれているのを見て、今世界で何が起っているか全ての人々にわからせる最もよい方法は、彼らを一堂に集め、彼らの問題について話し合

い、どのようにすれば、一緒にこれらの問題を解決できるかについて、意見と提案を交換することであるとの結論に達した。

よく考慮し話し合った末、系図協会の評議員会は、協会が主催する世界的なセミナーあるいは会議を開いて、世界各地の人々に出席するよう招待し、これらの重要な事柄について聞き、話し合うことができるようにしようと提案した。私たちが1969年に迎える75周年記念に結びつけて、これを行うのは時宜に適ったことのように思われる。系図協会は1894年11月に公認の機関として組織された、そしてそれ以来、世界最大の系図図書館として知られるまでに成長してきた。このような重要な会議を開くに当って、二つの記念すべき行事を共に持つことができると考えられたのである。

系図協会がこの会を主催するのは、非常に大きな仕事であると思っている。従って私たちは、1969年に盛大な記念祭を開くことができるよう、個人、各組織、政府の機関、その他に協力を要請している。私たちは四分野における世界のすぐれた指導者に、アメリカ合衆国ユタに一堂に集まっていたいただき、この重要な会議に出席した全世界の人々に、彼らの知識と巾広い経験を提供していただくよう計画している。探求を要し、十分説明されねばならない四つの分野は、相互に関連しているように思われる。私たちは記録あるいは記録の維持に携わっている人々が全部含まれるよう計画している。この中には記録保管者、図書館員、歴史家、そして系図学者が含まれる。

この行事を計画するための委員会が開かれている間、一般市民、図書館、政府の機関、その他がこの会議に出席を計画されるよう私たちは希望する。世界の指導者から非常に多くの内容が話され、提供されることになるから、出席できる人はみな大いに啓発され、この四つの重要な分野における新しい方向を得て、帰ることができることになろう。

この会合の期日は1969年8月5日か、8日までに決定された。多くの国家の政府の高官が出席なさるよう招待されるであろうし、多くの人が総会とそれに続くセミナーや会合に参加するよう個人的に招待されることになろう。このような会合を開こうとしている系図協会では、このセミナーに出席するため遠い距離を旅して来る人々は、彼らがこれまでに出席

したことがある他のいかなる会合よりも多くの情報、知識そして動機づけを受けなければならないと感じている。この事を頭において私たちは、1969年にアメリカ合衆国ユタ州ソルトレークシティに来た全ての人が、努力と経費を費やす価値があったと感じて帰ることができるようにしようと、この企画の計画と実施に、私たちが自身と時間を捧げてきた。

系図の将来にこれはどんな影響を及ぼすだろうか。世界の指導者が集まって世界の全ての個人の必要としているものについて話し合えば、全世界の国々の間に平和と意義をもたらす

方法決定に大きな影響を及ぼすに違いない。そしてこのことは祖先の記録がどこにあるとも、その記録を捜すのを助けることになる。私たちはこう信じている。記録が最終的に集められて活用されると、世界の殆んど全ての人が、いろいろな国々の間で幾らか関係のあることが、わかって来るであろう。

私たちは一人でも多くの人が、1969年の世界会議に出席することができるよう、心から希望している。この会議について何か質問があれば、系図協会まで問合わせて下さい。

わ い せ つ な 出 版 物 の 害 悪

連邦検察局局長 J. エドガー・フーバ

わ いせつな本や雑誌の出版と販売は、今日世界で大きな商売となっている。性的に挑発しようとする墮落した写真やわいせつな文書が殆んどどの町や村で売られており、貪欲で、きたない業者は毎年数百万の純益をあげている。

敏感な10代の青少年に与える害は、はかり知れないし、わいせつな文書が原因になって引き起された性犯罪の数は見積ることができない。その影響は非常に大きい。性的犯罪の件数は驚くべき速度で増加している。多くの親は子供を性的パーティーとか不法な関係に引き込む状態に深く憂慮している。どの刑事上の犯罪であっても、その増加の原因を正確に測る公的な判断の標準はない。しかし私たちは現実直面しなければならぬ。わいせつ文書はどんな形であっても、性犯罪的精神異常、性的倒錯の主な原因である。

私たちの社会は、高潔と廉潔から不道徳と墮落に向って向きを変えるほど、邪悪なものになっているのだろうか。私たちは道徳的に失墜して、行為と礼儀の原則を低下させているのだろうか。私たちは不正に対する正、悪に対する善の簡単な教養を放棄しているのだろうか。

私たちの周りを見てみよう。出版界、演劇界、娯楽の世界を見ると、出版物や演出されるものの良い啓発的なそして教育的な特質は、わいせつなもの、俗悪なもの、そして近親相姦や同性愛にあまりに重点がおかれるため、影がうすれているのではないだろうか。多くの人がその通りだと信じている。しかし、映画、トランプ、漫画、ペーパーバックの本や写真の形で国中に溢れているわいせつな本の流れに比べれ

ば、これらの媒介を通じての合法的な作品はまだ穏やかなものである。若い人々や好奇心の強い思春期の青少年の手にこのようなわいせつなものがあると、言い尽されない破壊と悲しい結果が招来される。

私とこの危険な問題について話し合った警察の高官は、みだらな、わいせつな文書が性犯罪に積極的な役割を果たしていると卒直に言った。起る事件毎に性犯罪者は、その場に、あるいは自分の所持品の中にわいせつな文書が写真を持っている。このような状況の下では、強姦がふえていることも不思議ではない。

国内に出まわっているわいせつな文書の販売と商売に抗して奮闘が行なわれてはいるがまだ明らかに不十分である。健全で効力ある法律が必要とされているが、法律が既にある所では強力に実施されなければならない。多くの法廷は、その地域社会の道徳水準によって、わいせつ問題を裁くようであるから、公衆は地域社会の道徳水準を上げる決定的な役割を果たすのである。わいせつな文書が発見されれば、それを摘発して、市民は然るべき当局へ訴えるべきである。郵便でわいせつな文書が送られることがあれば、郵便局へ知らせるべきである、市民が卒先して、違反者と協力して起訴すべきである。

わいせつな出版物は確かに害悪である。しかしこれは不必要な害悪である。もしわいせつ文書による不正の利益が、わいせつなものを扱う商人に対する厳しい罰に転じたら、この害悪は克服されるだろう。

(連邦検察局「法律施行会報」より許可を得て転載)

伝道部長メッセージ



ウォルター R. ビルス

「汝らわが言うところを行わば、主なるわれこれに対して責任あり。されど、汝らわが言うところを行わずば汝ら何ら約束を受けず。」

主は教義と聖約において、このように私たちに語られ、また同様の数々の言葉の中で、この約束をなさっておられます。しかしながら私たちのどれだけ多くのものが、主がなさった約束を本当に信じて受け入れているのでしょうか。「汝らわが言うところを行わば、われこれに対して責任あり」という言葉はなんと私たちに力を与えてくれることでしょう。

もし私たちはみな、ひとり残らず宣教師でありたいならば、天父によく従って生活しなければならぬと私は思います。

私たちはこの世でなすべき事柄を指示してくれる「みたま」に従って生活しなければなりません。私たちが導きたもうその声にしばしば耳を傾ける必要があります。

おそらく、私たちが誰れにでも言えるイエス・キリストの福音の最も偉大なメッセージは、私たちの言葉あるいは多く語るにより伝えられるものではありません。「私は他の人々に話すことができませんし、福音を説く才能がありません。」と多くの人は言います。これは本当かもしれませんが、もし私たちがイエス・キリストの福音に生き、模範的

な生活をするならば、日頃のどんな説教よりも偉大な教えを与えることになるのであります。

多くの人たちは、自分たちが会ったり、親しくなったある人の行いに、深い感銘を受けたために、福音の計画の第一課を受けたり、紹介を求めたりしてまいりました。

そこで世相が不安で、落ち着かないこの時代において、私たちがこの世で得られる最大の喜びは、天父によく従って生活することによって得られるのであります。私たちは毎日の祈りにおいて、もっと真剣に祈り、主に近づかなければなりません。もし私たちは、主が戸口を叩かれる時、私たちの家が秩序の中にあるように、日々大いに努力して生活するならば、これ以上の喜びと幸せをこの世で得ることはできないのであります。

私たちが主の御前に約束を守り、イエス・キリストの福音を実践する時に、真に数々の祝福が次々ともたらされるでありましょう。主がお与えになった誠命を守る時に、私たちに注がれる祝福で、私たちの器は満ちあふれるにちがいありません。

主が私たちを抱き、「良い忠実なしもべよ、よくやった」と言ってくれる以上に大切なことは他には全くないのであります。



観戦中のベンソン長老、ビルス伝道部長、渡辺副伝道部長



北支部における歓迎会でベンソン長老に花びんが送られた



田中良一兄弟（岡町支部）の力強い選手宣誓



表彰式

第1日が終り地方の会員たちは京浜地区の家庭に泊る

楽しかった

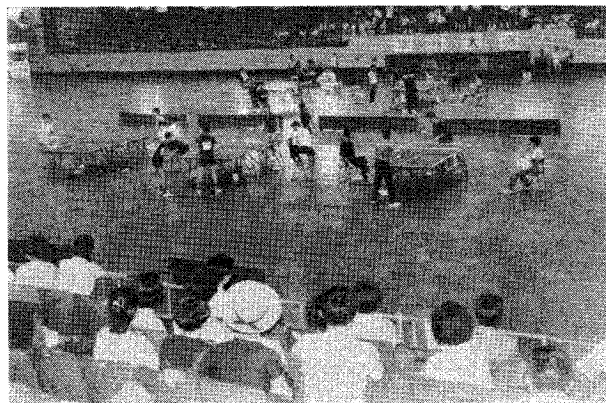
ユース・

コンファレンス

北は北海道、南は沖縄と日本全土から若くてたくましい兄弟姉妹たちが集い第一回ユース・コンファレンスが8月8日から4日間東京で開かれた。

この大会を成功させようとする皆んなの働きと祈りがかなえられ、十二使徒のベンソン長老も参加され素晴らしい大会となった。

この楽しかったユース・コンファレンスをもう一度写真で追ってみましょう。



卓球の試合風景



歓迎会において各支部よりうでをきそって作られたものをきそって食べる兄弟姉妹



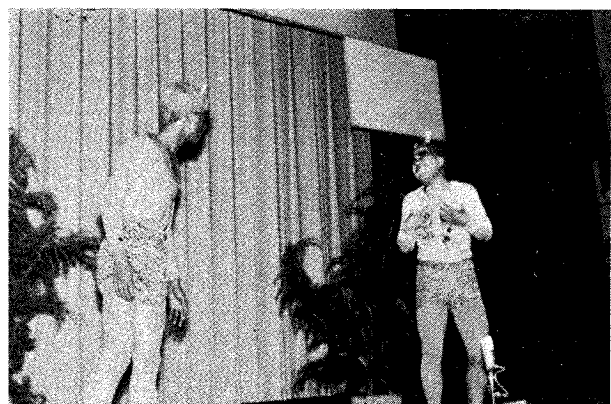
歓迎会にあふれるばかりに集まった聖徒に話されるベンソン長老



「結婚」をテーマに熱弁する弁士



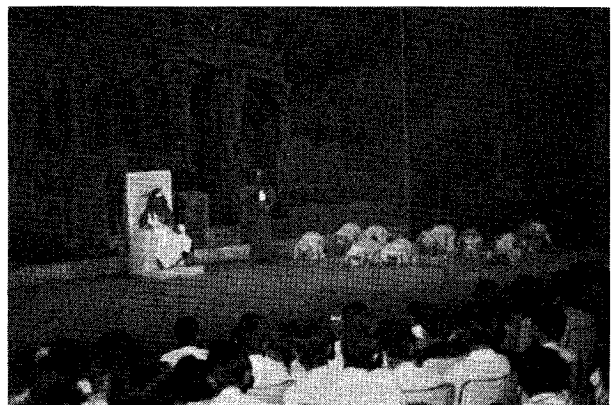
音楽コンテストで歌う沖縄の聖徒たち



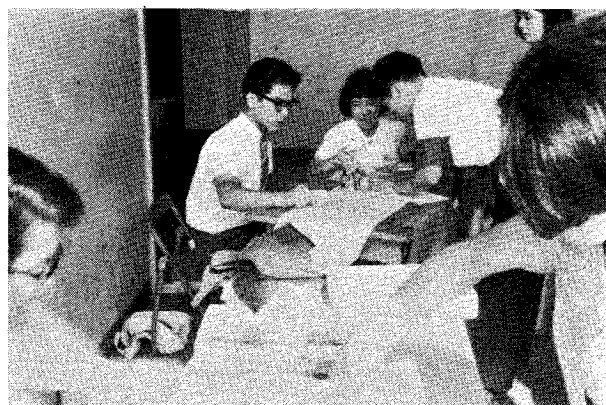
「泣いた赤鬼」の一場面（北海道地方部）



「泣いた赤鬼」の一場面（西中央地方部）



「ききんの断片」の一場面（東中央地方部）



宿泊をてきばきさばく担当者たち

第2日は日本青年館に宿泊

十二使徒

エズラ・タフト・ベンソン長老来日

8月7日極東地区を担当されるベンソン使徒が羽田空港に到着された。ユース・コンファレンスへの参加を願っていた会員たちは喜びに満ち空港に出迎えた。



ベンソン使徒

到着されたベンソン使徒を囲んで

ユース・コンファレンス 3日目

午前はバレーボール試合 午後はマスゲーム 夜はダンスフェスティバルと楽しい雰囲気のもとでプログラムが運ばれた。



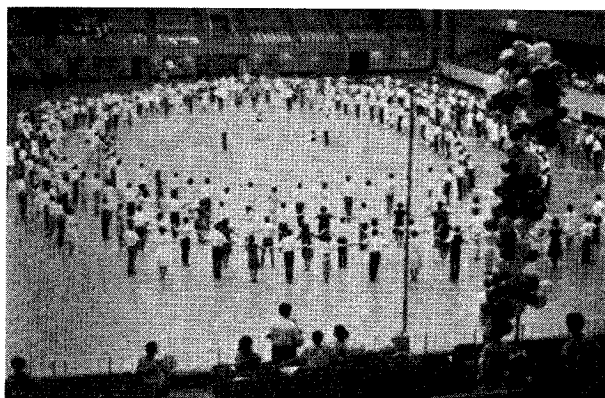
バレーボール熱戦風景



アイヌの正装をした北海道の兄弟姉妹



木曾節を踊る西地方部の兄弟姉妹



たくさんの兄弟姉妹によるマスフォーク・ダンス

ユース・コンファレンス4日目は豊島公会堂において証詞会が開かれ、たくさんの若人が力強い証をされた。

岡崎伝道部長ご家族来日

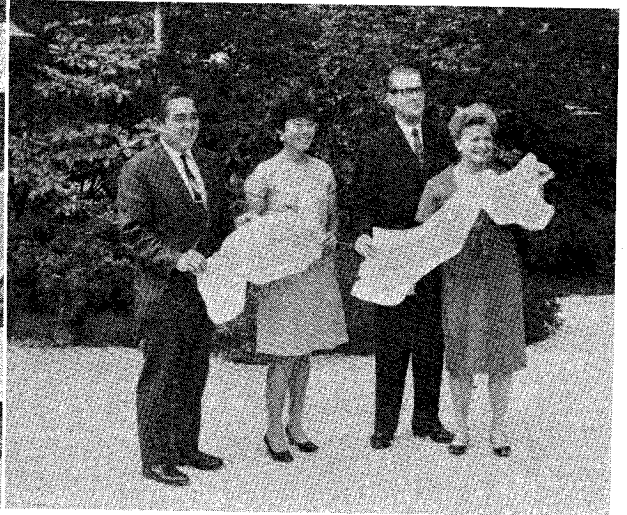
9月1日より西中央・九州・沖縄地方部を担当される岡崎
日本沖縄伝道部長は8月20日午後羽田空港へ到着された。
会員たちの出迎えを受けられたご一家は、伝道本部でビル
ス部長と会合し、23日会員たちの待つ大阪へ向かわれた。



岡崎伝道部長ご夫妻



羽田空港で会員たちと共に



日本地図を東西二つに分けて記念撮影の両伝道部長ご夫妻

私はアロン神権業績証明書を

受けられますか

私は16歳の祭司です。聖餐会の出席率は85%，日曜学校の出席率は80%，私はMIAの管理会長ですでもちろんMIAは100%，教会の仕事は一生懸命やっているつもりです。私は業績証明書を受けたいのですが受けられますでしょうか。またどうしたら受けることができるか教えてください。また業績証明書とはどういうものであるかわしく教えてください。

それでは業績証明書とは何か説明しましょう。

1. アロン神権業績証明

毎年9月1日から翌年8月31日までを期間とします。この賞を受けるにふさわしい人の推薦状は彼がこの目的にかなった立派な人間であるかどうかを決めるため監督が面接して決定します。業績証明はこの時の霊的状态と重要性をかね合わせて一年に一度若い人（12歳以下のアロン神権者）に与えられます。

また業績証明を受けるために次の事柄にあっていなければならない必要があります。

2. 業績証明の条件

執事

- a) 道徳的に清い生活を送る。
- b) 乱暴で下品な言葉は使わない。
- c) 知恵の言葉を守る。
- d) 代分の一を払う。
- e) 一年間に神権会、聖餐会、日曜学校に36回以上出席する（5月1日以前に聖任された会員は75%）
- f) 一般大会に年4回出席する。
- g) 神権会の責任を48回以上行なう。
- h) 公的な演説を1回以上する。
- i) 福祉計画または定員会奉仕活動に6時間以上参加する。
- k) 断食献金を集める。
- l) 読書課程と暗記聖句をおぼえる。

なお、教師、祭司は、この他に最低8ヶ月以上ホームティーチャとして会員の家庭を訪問するなどの条件が加えられる。

以上の事柄を守っていれば業績証明書を受ける資格が与えられます。

この業績証明書は上記条件を満たした優秀なアロン神権者に与えられる一つの賞である。この賞によってよりいっそう信仰生活を充実させ証詞を強めることができるよう望まれる。

支部の支部長や主事は一人でも多くのアロン神権者がこの賞を受けるよう、またこの賞に興味をわかせるようはげまし、指導すべきである。

いつ、何を許すべきか

リチャード・L・エヴァンズ

「賢明になる方法は何を許すべきかを知ることである」とウィリアム・ジェームズは言った。友人、愛する人、仲間づきあいのない生活はあまりにも空虚なものに違いない。しかし人は不完全なるがゆえに、交友関係も決して完全ではない。われわれは人々につき合う時、彼らの不完全を承知でつき合っている。しかし不完全を強調しすぎると不愉快、不幸、幻滅を感じさせる。これは結婚においても、また家庭、家族、友人仲間、人生のあらゆる人間関係においてそうである。また人生の最も大きな教訓は、人々を怒らせたり自信を失わせたり、あるいは私たちが人々に与える影響を台なしにしたりすることなく、人々の改善進歩に役立つ方法を学ぶことである。特に、他人の前で正されると当惑し、皮肉たっぷりに正されると実際人はいつも傷つけられる。私たちの誰もがなすべきことの全てを、完全にはたしていない。私たちのうち誰もが全ての徳を備え、能力を、完璧な成績を持っているわけではない。忘れない人は決していない。いつも予定通り行動し、いつも定まった時刻に食事をし（いつも時間に間に合って到着し）、そしていつも今来客を待っているかのように家を整え、いつも全てのものを同じ所におくことのできる人はいない。人は単なる機械ではなく、それ以上のものである。しかし機械ですら理解をもって扱わなければならない。また性能に誤ちがあることもある。私たちは皆自分たちの中に、許さなければならないことが多くある。—そしてまた許してはならないこともたくさんある。

しかしこのことにも、時、所、方法を選んで気転とおもいやりの心をもってしなければならぬ。人を委縮させ、傷つけた怒らせるような荒々しく無慈悲でぎこちない訂正のしかたではなく、優しく示し、耐え、正してあげる方法がたくさんある。正してあげる時があり、正してはいけない時がある。「賢明になる方法は何を許すべきか、そしてそれはいつであるかを知ることである。

（K.S.L.及びコロンビア放送によるテンプルスクウェアよりのスポークンワード。）

FEN 放送 (810kc) で毎日曜日 8:05~8:30a.m
まで、スポークン・ワードとタバナクル
コーラスが放送されています。

聖徒の道

1968年9月20日発行

振替口座 東京 16226 番

発行人兼編集人 ウォルター R. ビルス

発行所 東京都港区南麻布 5-8-10

末日聖徒イエス・キリスト教会 電話 (442)7438

印刷所 太陽印刷工業株式会社

定価 100 円

予約 一年間 1,000 円 (外国 4 ドル 50 セント)

電報受信略号 「トウキョウ」 マツジツ

出
文
ハ